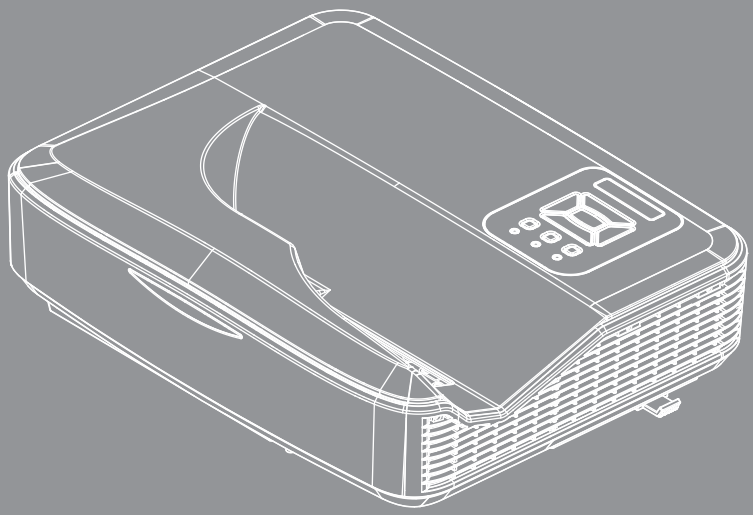
DLP® プロジェクター

Optoma

ZH400UST

取扱説明書（保証書付）



HDMI™ HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

PICTURE BY DLP® TEXAS INSTRUMENTS

目次

目次 2
使用上のご注意.....3
安全に関する情報.....3
安全上のご注意.....4
はじめに.....6
パッケージの内容.....6
製品の各部名称.....7
メインユニット.....7
コントロールパネル.....8
入/出力接続.....9
リモコン.....10
設置方法 11
プロジェクターの接続 11
コンピュータ/ノートパソコンへの接続.....11
ビデオソースへの接続.....12
プロジェクターの電源オン/オフ.....13
プロジェクターの電源を入れる 13
プロジェクターの電源を切る.....14
警告インジケータ 14
投射画像の調整.....15
プロジェクターの高さを調整する 15
プロジェクターのフォーカスを調整する..16
投射画像サイズと投射距離(対角線) ...17
ユーザーコントロール 19
コントロールパネルおよびリモコン ...19
コントロールパネル.....19
リモコン.....20
IRリモコンコード.....22
構造 23
オンスクリーンディスプレイメニュー..23
操作方法 26
ピクチャー 27
スクリーン.....29
設定.....31
ボリューム 33
オプション.....34
オプション｜レーザー設定.....36
3D 37
LAN.....38
マルチメディア 44
マルチメディアファイルへのアクセス .44
「マルチメディア」モードにアクセスする方法.....44
.....62
防塵フィルター(**オプション**).....62
MMA対応リスト 63
互換性モード.....68
VGAアナログ.....68
HDMIデジタル.....70
RS232プロトコル機能リスト.....72
規制と安全に関する通知 74
天井マウント設置 77

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない[危険な電圧]が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告:火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class Bデジタル装置に関する制限

このClass Bデジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

安全に関する大切な指示

1. 通気口を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞がないような場所に設置してください。例えば、多くの物品を置いた珈琲テーブル、ソファー、ベッドなどの上にプロジェクターを置かないでください。また通気の悪い本棚やキャビネット内にも設置しないでください。
2. プロジェクターは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。火災や感電の原因になります。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
6. 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。
   物理的な破損/乱用は、次のような場合をいいます(但し、これは一部の例です):
   - ❒ 装置を落下した。
   - ❒ 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
   - ❒ プロジェクターに液体をこぼした。
   - ❒ プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
   - ❒ プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

   お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。
7. プロジェクター内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

使用上のご注意

安全上のご注意

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

- 警告－ ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞいてはいけません。高輝度の光が目に損傷を与える危険があります。

- 警告－ 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。

- 警告－ プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

使用上のご注意

推奨事項:

- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

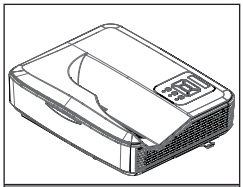
- 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - 海抜0 ~ 6000フィート
      極端に暑い:> 35°C
      極端に寒い:< 5°C
    - 海抜6000フィート以上
      極端に暑い:> 30°C
      極端に寒い:< 5°C
    - 極端に高湿度:> 70% R.H. (相対湿度)
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

はじめに

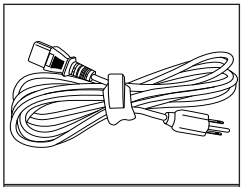
パッケージの内容

箱の内容を取り出して、下記の各アイテムが含まれていることをご確認ください。万一、不足品がある場合は、お近くのカスタマーサービスセンターにご連絡ください。

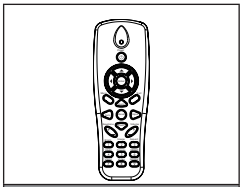
標準アクセサリ



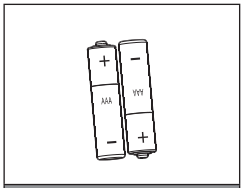
プロジェクター



電源コード



リモコン

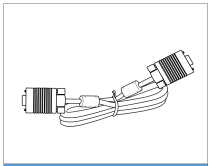


単4電池(2本)

☑ 製品保証カード*

☑ ベーシックユーザーマニュアル

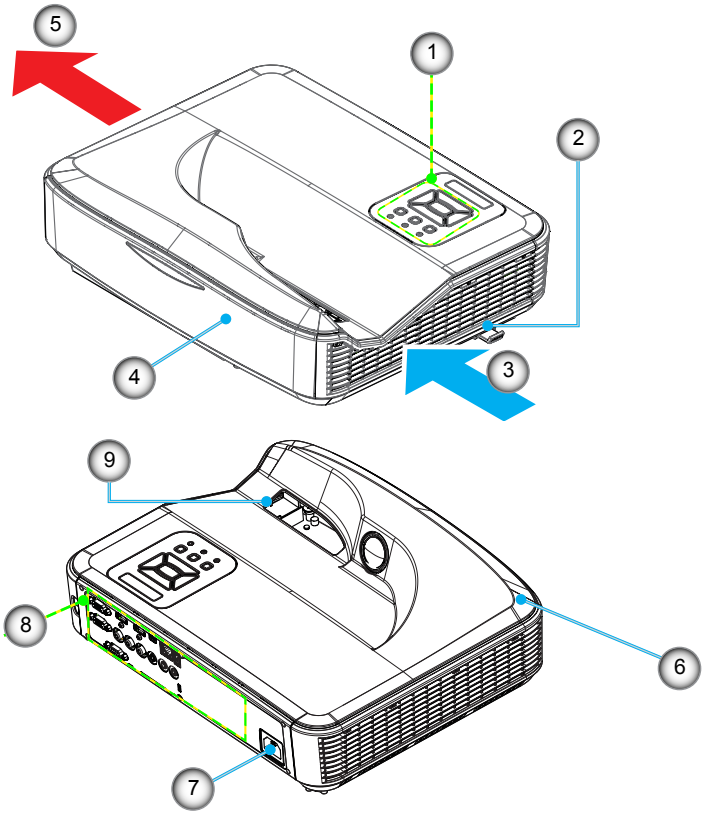
文書



VGAケーブル

製品の各部名称

メインユニット



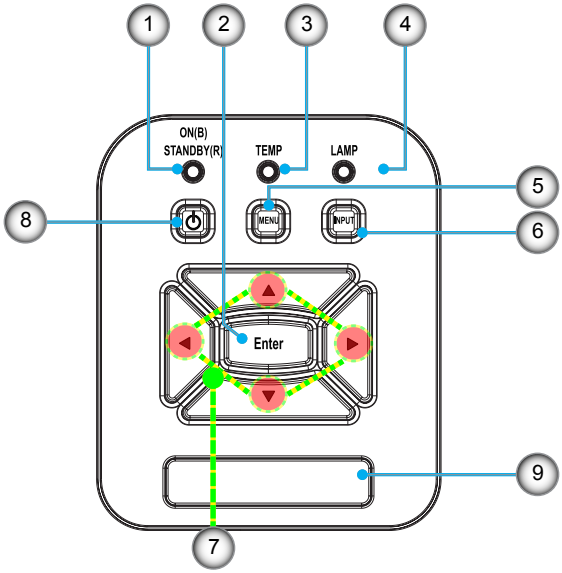
NOTE

- インタフェースはモデルの仕様に依存します。
- プロジェクターの給排気口は塞がずに、最低30cmの間隙を残してください。

1. コントロールパネル
2. フォーカススイッチ
3. 通気口(吸気)
4. 赤外線レシーバー
5. 通気口(排気)
6. スピーカー
7. 電源ソケット
8. 入/出力接続
9. レンズ

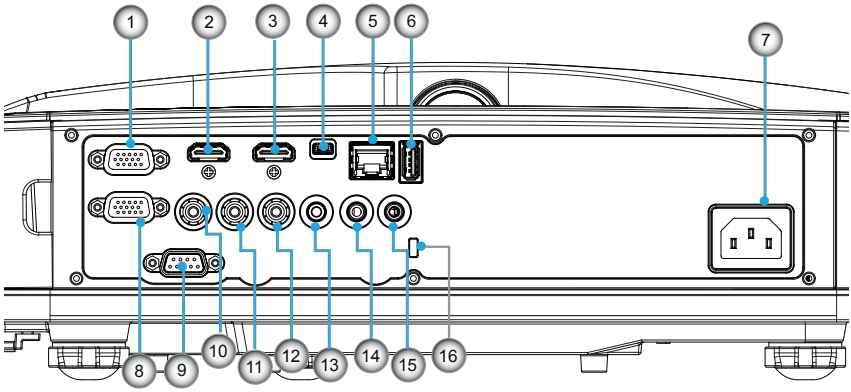
はじめに

コントロールパネル



1. 電源LED
2. エンター
3. 温度インジケータLED
4. ランプインジケータLED
5. メニュー
6. 入力
7. 4方向選択キー
8. 電源/スタンバイボタン
9. 赤外線レシーバー

入/出力接続

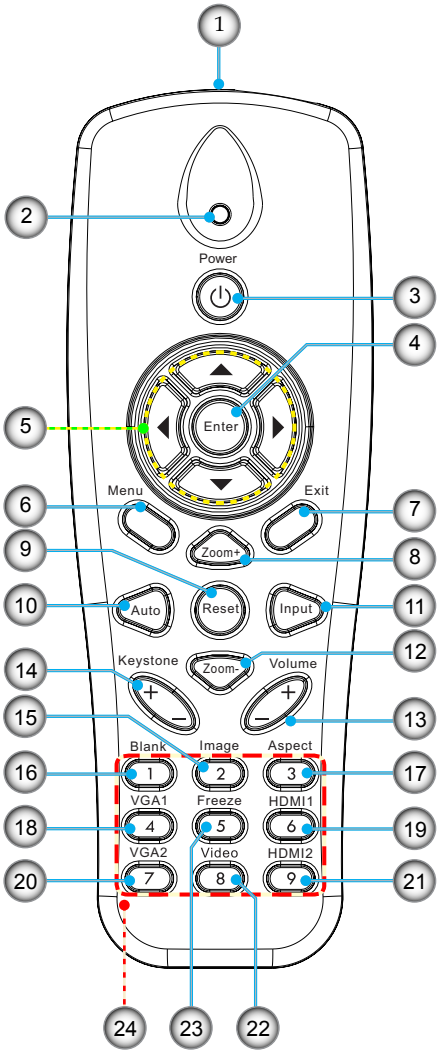


1. VGA1-In/YPbPrコネクタ
   (PCアナログ信号/コンポーネントビデオ入力/HDTV/YPbPr用)
2. HDMI 2入力コネクタ
3. HDMI 1入力コネクタ
4. USBコネクタ(PCに接続(リモートマウス機能向け))
5. RJ45コネクタ
6. USBタイプAコネクタ
7. 電源ソケット
8. VGA出力/VGA 2入力コネクタ
9. RS-232コネクタ(9ピンDINタイプ)
10. コンポジットビデオ入力コネクタ
11. コンポジットオーディオ入力(右)コネクタ
12. コンポジットオーディオ入力(左)コネクタ
13. 音声出力コネクタ(3.5mmミニジャック)
14. 音声入力コネクタ(3.5mmミニジャック)
15. 音声入力コネクタ(マイク)
16. ケンジントン™ ロックポート

❖ モニターループスルーは、VGA1-In/YPbPrでのみサポートされます。

はじめに

リモコン



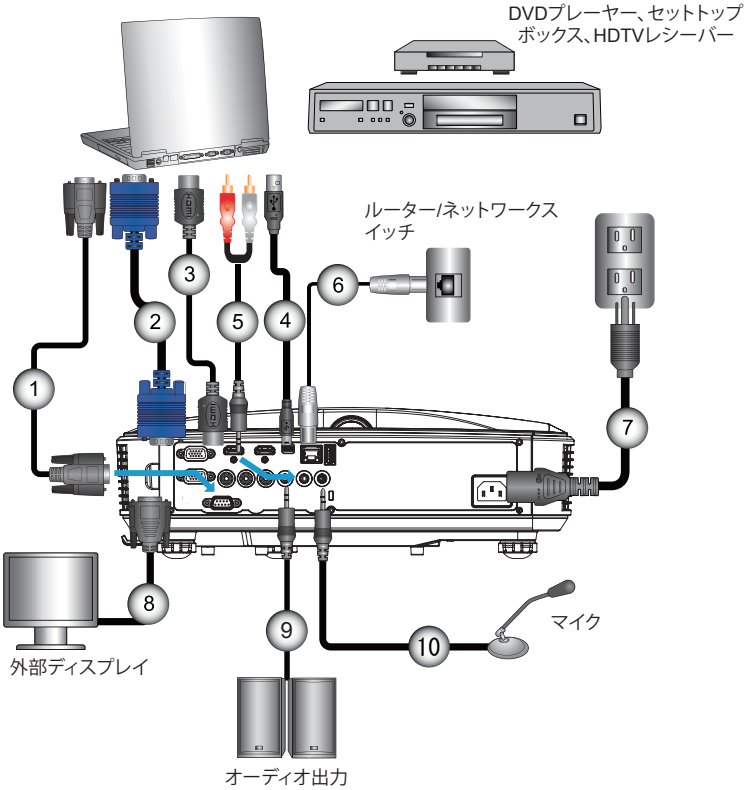
1. 赤外線トランスミッタ
2. LEDインジケータ
3. 電源オン/オフ
4. OK
5. 4方向選択キー
6. メニュー
7. 終了
8. ズームイン
9. リセット
10. 自動
11. ソース
12. ズームアウト
13. 音量+/-
14. キーストーン+/-
15. 画像
16. ブラックスクリーン（黒画面表示）
17. 縦横比
18. VGA 1
19. HDMI 1
20. VGA 2
21. HDMI 2
22. ビデオ
23. 画面フリーズ
24. 数字ボタン(パスワード入力用)

NOTE

- モデルによっては対応していない機能があるので、対応するキーが無効となる場合があります。

プロジェクターの接続

コンピュータ/ノートパソコンへの接続



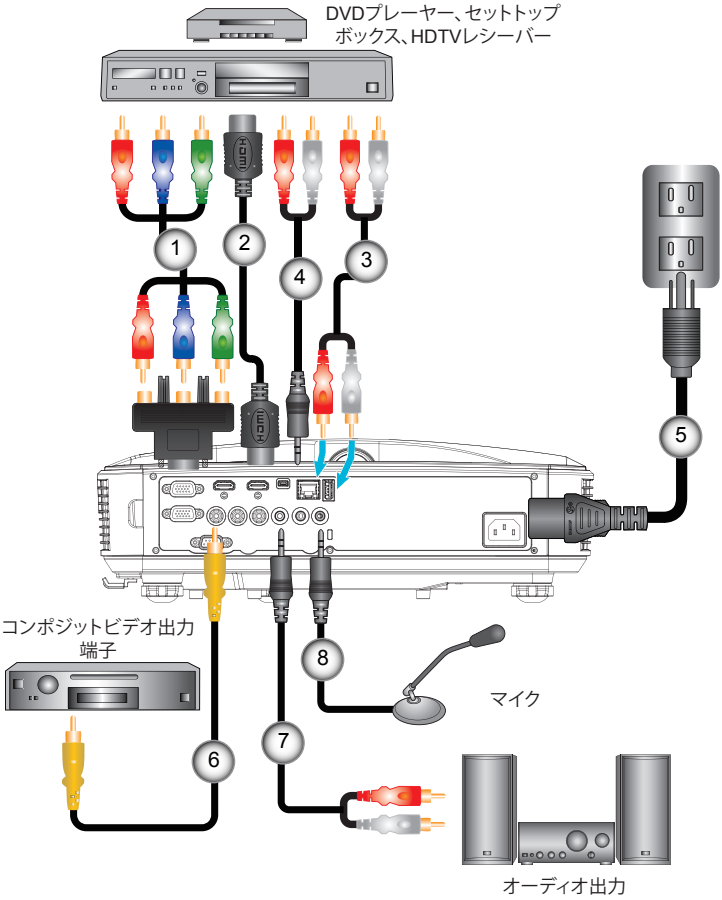
NOTE

- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションのアクセサリ。

1.....*RS232ケーブル
2.....*VGAケーブル
3.....*HDMIケーブル
4.....*USBケーブル
5.....*音声ケーブル/RCA
6.....*RJ45ケーブル
7.....電源コード
8.....*VGA出力ケーブル
9.....*音声出力ケーブル
10.....*マイク入力ケーブル

設置方法

ビデオソースへの接続



- 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- (*) オプションのアクセサリ。

1.....*15ピン - 3 RCAコンポーネント/HDTVアダプタ
2.....* HDMIケーブル
3.....*オーディオケーブル
4.....*音声ケーブル/RCA
5.....電源コード
6.....*コンポジットビデオケーブル
7.....*音声ケーブル/RCA
8.....*音声入力ケーブル

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. 電源コードと信号ケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源/スタンバイLEDがオレンジ色で点灯します。

2. プロジェクターまたはリモコンの「⏻」ボタンを押すと、ランプが点灯します。この時点で、電源/スタンバイLEDが青色で点灯します。❶

   起動画面は約10秒後に表示されます。プロジェクターを初めて使用するとき、使用言語と省電力モードを選択するように求められます。

3. スクリーンに表示させたい(コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど)ソースの電源を入れて、接続します。プロジェクターは自動的にソースを検出します。検出されない場合、メニューボタンを押して、「オプション」を開きます。「ソースロック」が「オフ」になっていることを確認します。

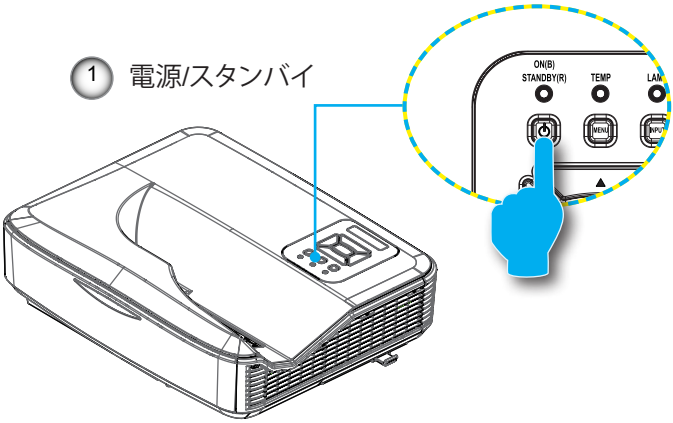
❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの「入力」ボタンを押すか、またはリモコンの「ソース」ボタンを押すと、入力を切り換えることができます。

NOTE

❖ 電力モードがスタンバイ(待機)モード(消費電力が0.5W未満)にあるときにプロジェクタが待機状態になると、VGA出力/入力とオーディオが非アクティブになります。

NOTE

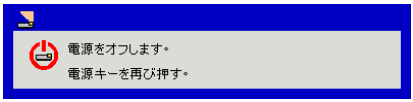
❖ まず、プロジェクターの電源を入れた後、信号ソースを選択します。



設置方法

プロジェクターの電源を切る

1. リモコンまたはコントロールパネルの「⏻」ボタンを押して、プロジェクターの電源をオフにします。画面上に次のメッセージが表示されます。



   確定のためにもう一度「⏻」ボタンを押してください。これを行わないと、10秒後にメッセージ表示が消えます。「⏻」ボタンを二回押しますと、ファンは冷却を開始し、システムはシャットダウンされます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルとして約4秒間作動し続け、電源/スタンバイLEDがオレンジ色で点滅します。電源/スタンバイLEDがオレンジ色で点灯したら、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「⏻」ボタンを押すだけでプロジェクターを立ち上げることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。

警告インジケータ

NOTE

- プロジェクターにこれらの現象が現われた場合は、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。

警告インジケータ(以下を参照)がオンになると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします：

- 「ランプ」LEDインジケータが赤く点灯し、「電源/スタンバイ」インジケータが黄色に点滅している場合。
- 「温度」LEDインジケータが赤色で点灯します。これはプロジェクターが過熱状態にあることを示しています。通常の状況では、プロジェクターを再度オンすることができます。
- 「温度」LEDインジケータが赤く点滅し、「電源/スタンバイ」インジケータが黄色に点滅している場合。

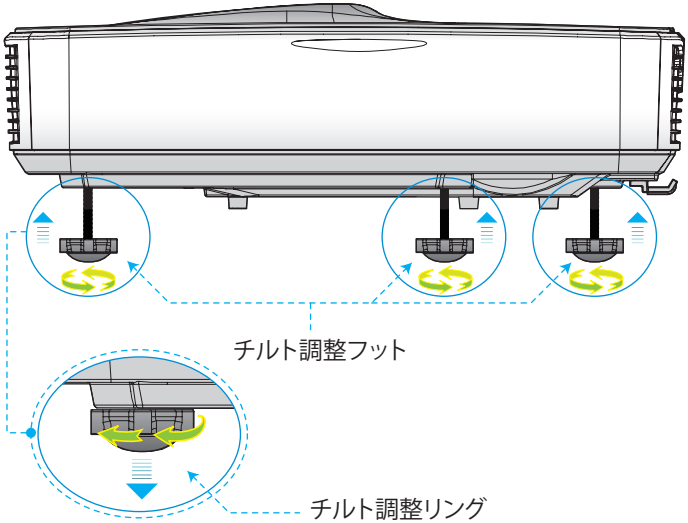
プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが再び点灯したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

投射画像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面にある、チルト調整フットを探します。
2. 調整可能リングを右に回すとプロジェクターが持ち上がり、左に回すと下がります。必要に応じて、残りの足についてもこの手順を繰り返します。

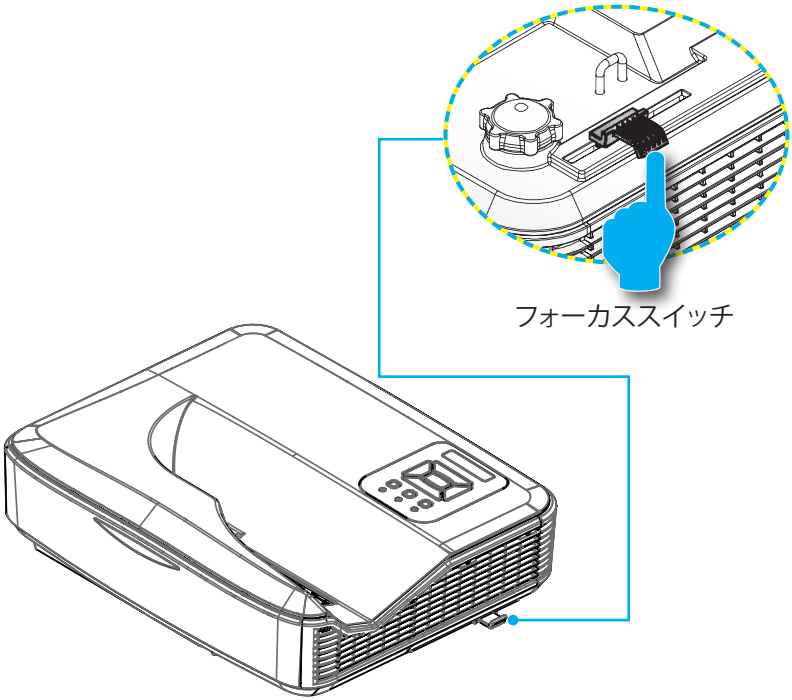


設置方法

プロジェクタのフォーカスを調整する

映像にフォーカスを合わせるには、明瞭な映像になるまでフォーカススイッチを左/右にスライドさせます。

- 1080pシリーズ：プロジェクター焦点距離は0.437から0.572メートル(1.443から1.887フィート)です。
- WXGAシリーズ：このプロジェクタのフォーカス合わせの距離(レンズから壁まで)は1.59 ~ 2.16フィート(0.49 ~ 0.66メートル)の範囲です

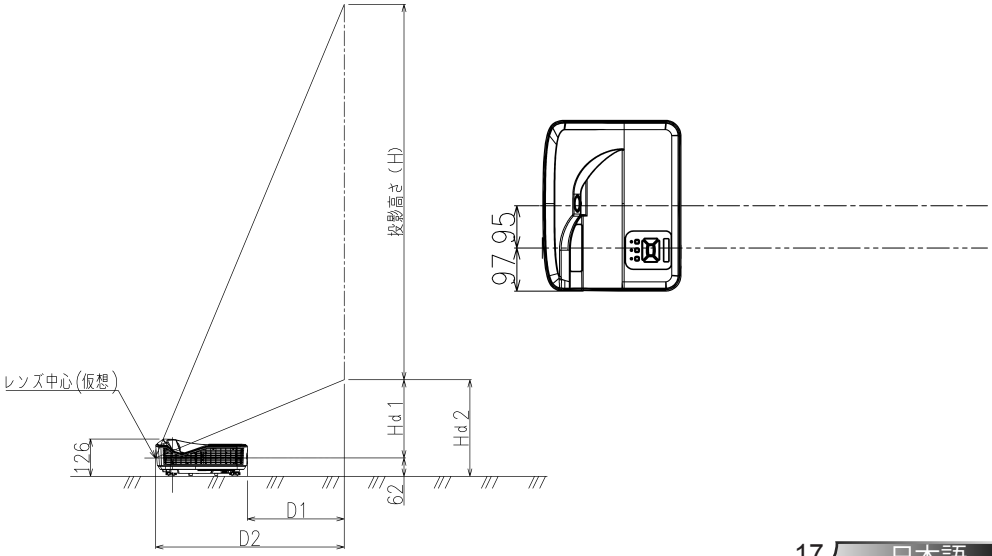


投射画像サイズと投射距離(対角線)

- 1080pシリーズ：映像のサイズは80インチ~ 100インチ(2.03 ~ 2.54 m)の範囲で調整可能です。

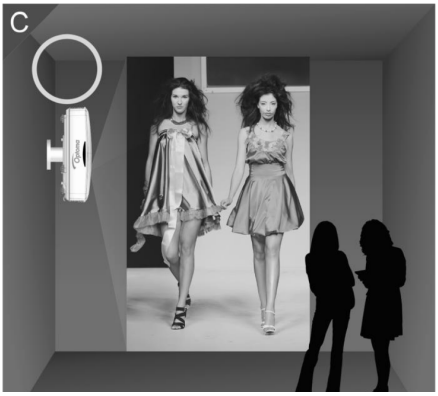
画面サイズ HD(16:9)	イメージサイズm		投写距離m		オフセット(Hd)m	
	幅(W)	高さ(H)	D1	D2	Hd1	Hd2
87	1.926	1.083	0.233	0.543	0.226	0.288
88	1.948	1.096	0.239	0.549	0.229	0.291
89	1.970	1.108	0.246	0.556	0.231	0.293
90	1.992	1.121	0.252	0.562	0.234	0.296
91	2.014	1.133	0.258	0.568	0.236	0.298
92	2.037	1.145	0.264	0.574	0.239	0.301
93	2.059	1.158	0.271	0.581	0.241	0.303
94	2.081	1.170	0.277	0.587	0.244	0.306
95	2.103	1.183	0.283	0.593	0.247	0.309
96	2.125	1.195	0.289	0.599	0.249	0.311
97	2.147	1.208	0.296	0.606	0.252	0.314
98	2.169	1.220	0.302	0.612	0.254	0.316
99	2.192	1.233	0.308	0.618	0.257	0.319
100	2.214	1.245	0.314	0.624	0.260	0.322
101	2.236	1.258	0.321	0.631	0.262	0.324
102	2.258	1.270	0.327	0.637	0.265	0.327

※アスペクトHD（16：9）映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）



設置方法

多様な設置ーさまざまな投写モード

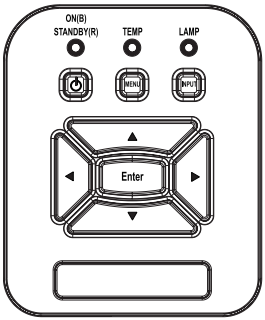


×設置できない投写モード

ユーザーコントロール

コントロールパネルおよびリモコン

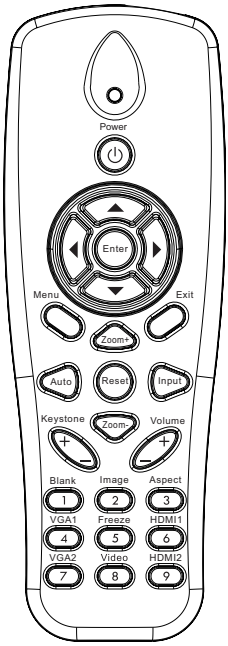
コントロールパネル



コントロールパネルの使用	
電源	⏻ 13 - 14ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
エンター	「エンター」を押して項目選択を確定します。
入力	「入力」を押して入力信号を選択します。
メニュー	「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、もう一度「メニュー」を押します。
4方向選択キー	▲▼◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
ランプLED	プロジェクターの光源の状態を示すLEDインジケータを確認します。
温度LED	プロジェクターの温度の状態を示すLEDインジケータを確認します。
オン/待機LED	プロジェクターの出力の状態を示すLEDインジケータを確認します。

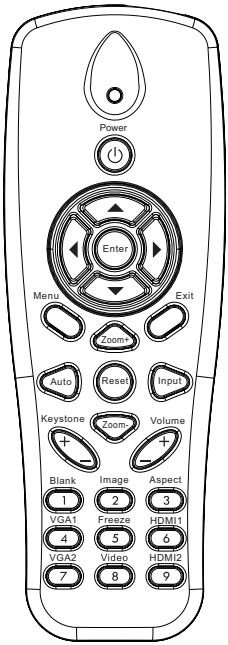
ユーザーコントロール

リモコン



リモコンの使用	
赤外線トランスミッタ	プロジェクタに信号を送信します。
LED	LEDインジケータ。
電源 ⏻	15-16ページの[プロジェクターの電源オン/オフ]を参照してください。
終了	「終了」を押してOSDメニューを閉じます。
ズームイン	プロジェクタ画面をズームインします。
リセット	調整と設定を出荷時設定値に戻します。(ランプカウンタを除きます)
ズームアウト	プロジェクタ画面をズームアウトします。
エンター	選択した項目を確定します。
ソース	「ソース」を押して入力信号を選択します。
自動	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
4方向選択キー	▲▼◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
キーストーン+/-	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
音量+/-	音量の増減を調整します。
縦横比	ここで、好みのアスペクト比を選択します。

ユーザーコントロール



リモコンの使用	
メニュー	「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、もう一度「メニュー」を押します。
VGA 1	「VGA 1」を押してVGA IN 1コネクタを選択します。
ブランクスクリーン	一時的に音声と画像のオン/オフを切り換えることができます。
HDMI 1	「HDMI 1」を押してHDMI IN 1コネクタを選択します。
HDMI 2	「HDMI 2」を押してHDMI IN 2コネクタを選択します。
VGA 2	「VGA 2」を押してVGA IN 2コネクタを選択します。
ビデオ	「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択します。
画面フリーズ	スクリーン画像を一時停止させます。再度押すと映像が再開します。
画像	表示モードを輝度、PC、映画、写真およびユーザーから選びます。

ユーザーコントロール

IRリモコンコード

キー従来	NEC_CODE			
	カスタムコード		データ	
	バイト1	バイト2	バイト3	バイト4
電源	FF	FF	E8	17
上	FF	FF	E7	18
左	FF	FF	E6	19
エンター	FF	FF	F8	7
4	FF	FF	F7	8
下	FF	FF	F6	9
メニュー	FF	FF	EB	14
ズーム+	FF	FF	FB	4
終了	FF	FF	FF	0
自動	FF	FF	FA	5
リセット	FF	FF	EA	15
入力	FF	FF	E0	1F
ズーム-	FF	FF	FE	1
キーストーン+	FF	FF	F0	0F
キーストーン-	FF	FF	E2	1D
ボリューム-	FF	FF	F2	0D
音量+	FF	FF	BD	42
ブランク/1	FF	FF	BE	41
イメージ/2	FF	FF	F3	0C
アスペクト3	FF	FF	E3	1C
VGA1 /4	FF	FF	BF	40
フリーズ/5	FF	FF	EC	13
HDMI1/6	FF	FF	E5	1A
VGA2 /7	FF	FF	E4	1B
HDMI2 /8	FF	FF	EF	10
Sビデオ/9	FF	FF	E1	1E

ユーザーコントロール

OSD（オンスクリーンディスプレイメニュー）

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

構造

注意：OSD（オンスクリーンメニュー)の内容はプロジェクターのモデルと映像信号のタイプにより異なります。

メインメニュー	サブメニュー		設定
ピクチャー	カラーモード		輝度/PC/映画/ゲーム/ブレンディング/ユーザー (ユーザーが設定変更した場合は、カラーモードをユーザーモードに変更してください)
	壁の色		白/ライトイエロー/ライトブルー/ピンク/ダークグリーン
	輝度		0～ 100
	コントラスト		0～ 100
	シャープネス		
	彩度		
	色合い		
	ガンマ		0～3
	色温度		0～4
	色設定	白/赤/緑/青/青緑色/マゼンタ色/黄	色合い/彩度/ゲイン　白（赤/緑/青）
スクリーン	縦横比		自動/4:3/16:9/16:10
	フェーズ		
	クロック周波数		
	水平位置		
	垂直位置		
	デジタルズーム		
	方向		前面/前面天井/背面/背面天井
	サイズ		

ユーザーコントロール

設定	言語		英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/スペイン語/ポーランド語/スウェーデン語/オランダ語/ポルトガル語/日本語/繁体字中国語/ 簡体字中国語/韓国語/ロシア語/アラビア語/ノルウェー語/トルコ語/デンマーク語
	メニュー位置		左上、右上、中央、左下、右下
	クローズドキャプション		オフ/CC1/CC2/CC3/CC4
	VGA出力 (スタンバイ)		オフ/オン
	LAN (スタンバイ)		オフ/オン
	VGA-2 (機能)		入力/出力
	テストパターン		オフ/オン
	ダイレクトパワーオン		オフ/オン
	デフォルトへのリセット		はい/いいえ
音量	スピーカー		オン/オフ
	ラインアウト		オン/オフ
	マイク		オン/オフ
	消音		オン/オフ
	音量		
	マイク音量		
オプション	ロゴ		デフォルト/ユーザー
	ロゴキャプチャ		
	自動ソース選択		オン/オフ
	入力		VGA-1、VGA-2、HDMI-1、HDMI-2、ビデオ、マルチメディア
	自動電源オフ(分)		
	レーザ設定		使用されたレーザ時間(標準)
			使用されたレーザ時間(エコ)
		レーザ電源モード	標準、エコ
	高度		オン/オフ
	フィルター設定時間	フィルター設定時間	
		設定時間の削除	はい/いいえ

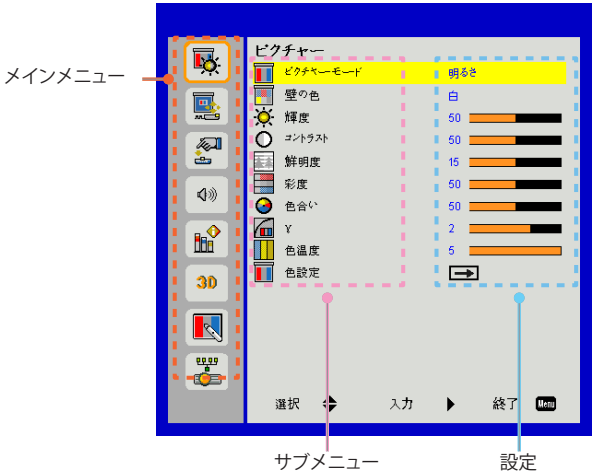
ユーザーコントロール

オプション	情報	モデル名
		SNID
		ソース
		解像度
		SWバージョン
		縦横比
3D	3D	オフ/オン/自動
	3D反転	オン/オフ
	3D映像 フォーマット	Frame Packing
		Side-by-Side (Half)
		Top and Bottom
		Frame Sequential
		Field Sequential
	1080p @ 24	96 Hz/144 Hz
ネットワーク	ステータス	
	DHCP	オン/オフ
	IPアドレス	
	サブネットマスク	
	ゲートウェイ	
	DNS	
	MACアドレス	
	グループ名	
	プロジェクター名	
	位置	
	問い合わせ先	

ユーザーコントロール

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの「メニュー」ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページで項目を選択し、► または「入力する」キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲▼キーを使って必要な項目を選び、◄►キーを使って設定を調節します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「入力する」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「メニュー」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じられ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザーコントロール

ピクチャー

ピクチャーモード

さまざまなイメージタイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。◀または▶ボタンを使って項目を選択します。

- 輝度：輝度の最適化用。
- PC：会議でのプレゼンテーション用。
- ムービー：ビデオコンテンツの再生用。
- ゲーム：ゲームコンテンツ用。
- ユーザー：ユーザー設定を記憶。
- ブレンディング：ブレンディングアプリケーション用。

壁の色

この機能を使用すると壁の色に応じて最適な映像が得られます。「白」、「淡黄色」、「薄青色」、「ピンク」および「暗緑色」から選択できます。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◀ボタンを押すと、画像が暗くなります。
- ▶ボタンを押すと、画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差を調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀ボタンを押すと、コントラストが減少します。
- ▶ボタンを押すと、コントラストが増加します。

ユーザーコントロール

❖ [鮮明度]、[彩度]と[色合い]機能は、ビデオモードでのみサポートされます。

鮮明度

画像の鮮明度を調整します。

- ◀ボタンを押すと、鮮明度が減少します。
- ▶ボタンを押すと、鮮明度が増加します。

彩度

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ボタンを押すと、画像の彩度が減少します。
- ▶ボタンを押すと、画像の彩度が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀ボタンを押すと、画像の緑の量が増加します。
- ▶ボタンを押すと、画像の赤の量が増加します。

γ

これによってガンマ値を調整して入力に対して良好な映像コントラストを得ることができます。

色温度

これによって色温度を調整できます。より高い温度で、画面は寒色系に見え、低い温度で、画面は暖色系に見えます。

色設定

個々の赤色、緑色、青色、青緑色、赤紫色および黄色の詳細な調整にこれらの設定を使用します。

スクリーン

縦横比

- 自動：画像本来の幅-高さ比を保持しつつ、ネイティブな水平または垂直ピクセルに合わせて最大表示します。
- 4:3：画像は4:3の比率で画面に合わせて表示されます。
- 16:9：画像は16:9の比率でスクリーンの幅に合わせ、高さも調整されて表示されます。
- 16:10：画像は16:10の比率でスクリーンの幅に合わせ、高さも調整されて表示されます。

NOTE

❖ 「水平位置」と「垂直位置」の範囲は、入力ソースに依存します。

位相

表示の信号タイミングをグラフィックカードと同期させます。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

クロック周波数

映像に垂直フリッカが生じるときに最適な映像が得られるように調整します。

水平位置

- ◀ボタンを押すと画像が左に移動します。
- ▶ボタンを押すと画像が右に移動します。

ユーザーコントロール

垂直位置

- ◀ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- ▶ボタンを押すと、画像が上に移動します。

デジタルズーム

- ◀ボタンを押すと、画像のサイズが縮小されます。
- ▶ボタンを押すと、画像のサイズが拡大されます。

垂直キーストーン

◀または▶ボタンを押して、垂直方向の画像歪みを調整します。画像が台形に見える場合、このオプションにより画像を長方形にすることができます。

方向

- 前面：画像は直接スクリーンに投影されます。
- 前面天井：これがデフォルトの選択です。選択されると画像は上下逆向きに表示されます。
- 背面：選択されると、画像を左右逆向きに表示します。
- 背面天井：選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

設定

言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。◀または▶ボタンを押してサブメニューに移動してから、▲または▼ボタンを使って使用される言語を選びます。リモコンの▶を押すと、選択が確定されます。

メニュー位置

表示スクリーンでメニュー位置を選択します。

クローズドキャプション

この機能を使うとクローズキャプションメニューが有効になります。以下の中から適切なクローズキャプションのオプションを選択します：オフ、CC1、CC2、CC3とCC4。

VGA Out (スタンバイ)

「オン」を選ぶとVGA出力接続が有効になります。

ユーザーコントロール

LAN (スタンバイ)

「オン」を選ぶとLAN接続が有効になります。[オフ]を選ぶとLAN接続が無効になります。

VGA-2 (機能)

入力：「入力」を選択すると、VGAポートがVGA入力機能として動作可能な状態になります。

出力：プロジェクタを電源が入れた後、「出力」を選択するとVGA出力機能が有効になります。

テストパターン

テストパターンを表示します。

ダイレクトパワーオン

ダイレクトパワーオン機能は、ブレーカーなどでシステム全体の電源を入切するのに連動させてプロジェクターの電源も入切できる機能です。

ダイレクトパワーオン機能を「入」に設定しておくことで、ブレーカーからの電源投入にて、スタンバイ状態を経ることなくプロジェクターが起動して投影を開始することができます。

リセット

「はい」を選択するとすべてのメニューのパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

ボリューム

スピーカー

- 「オン」を選ぶとスピーカーが有効になります。
- 「オフ」を選ぶとスピーカーが無効になります。

ライン出力

- 「オン」を選択すると、ライン出力機能が有効になります。
- 「オフ」を選択すると、ライン出力機能が無効になります。

マイク

- 「オン」を選ぶとマイクロフォンが有効になります。
- 「オフ」を選ぶとマイクロフォンが無効になります。

消音

- 「オン」を選ぶと消音が有効となります。
- 「オフ」を選ぶと消音が無効となります。

ボリューム

- ◀ボタンを押すと、音量が下がります。
- ▶ボタンを押すと、音量が上がります。

マイク音量

- ◀ボタンを押すと、マイク音量が下がります。
- ▶ボタンを押すと、マイク音量が上がります。

ユーザーコントロール

オプション

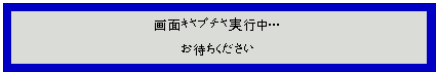
ロゴ

この機能を使用して、必要なスタートアップ画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- デフォルト：デフォルトの起動画面です。
- ユーザー：「ロゴキャプチャ」機能で保存された画像を使用します。

ロゴキャプチャ

▶ボタンを押すと、現在スクリーンに表示されている画像のイメージがキャプチャされます。

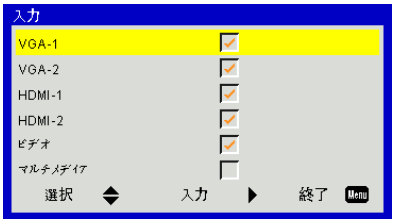


自動ソース

- オン：現在の入力信号が失われるならば、プロジェクターは他の信号を検索します。
- オフ：プロジェクターは、現在の入力接続のみを検索します。

入力

▶ボタンを押すと、入力ソースが有効化/無効化されます。プロジェクターは選択されていない入力を検知しません。



NOTE

- ロゴキャプチャを成功させるには、スクリーン上の画像がプロジェクターのネイティブ解像度を超えないように注意してください。(WXGA: 1280x800)。
- 「ロゴキャプチャ」は、3D有効時には利用できません。
- この機能を有効にする前に、「縦横比」を「自動」に設定するようお勧めします。
- 自動ソースがオンのとき、ユーザーがマルチメディアソースを選択していた場合、システムはマルチメディアを検索し、そうでない場合はマルチメディアソースをスキップします。

自動電源オフ(分)

自動電源オフタイマーの間隔を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。プロジェクターは、自動的に**カウントダウン**し電源を切ります。

レーザー設定

32ページをご参照ください。

高度

- オン：内蔵ファンは高速回転します。このオプションは、海抜2500フィート/762メートルを超える場所でプロジェクターを使用する際に選択します。
- オフ：内蔵ファンは、内部温度によって自動的に様々な速度で動作します。

フィルター清掃使用時間

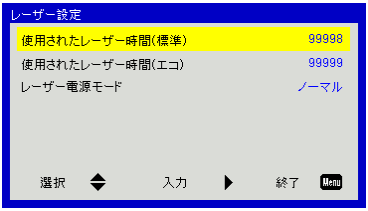
- フィルタ**リマインダー**（**時間**）：フィルター**清掃使用時間**を設定します。
- フィルタの交換または清掃の後に、「はい」を選んでフィルタ時間数カウンタをリセットします。

情報

スクリーンにモデル名、SNID、ソース、解像度、ソフトウェアバージョンおよびアスペクト比といったプロジェクター情報が表示されます。

NOTE

- 「ダイナミックブラック」は、「カラーモード」が「ムービー」に設定されたときに利用できます。
- 「ダイナミックブラック」が有効な場合、「レーザーパワーモード」は利用できません。



オプション | レーザー設定

使用されたレーザー時間(標準)

通常モードでの投影時間が表示されます。

使用されたレーザー時間(エコ)

エコモードでの投影時間が表示されます。

レーザー電源モード

- ノーマル:ノーマルモード。
- エコ:この機能を使うとプロジェクータランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を伸ばすことができます。

3D

NOTE

- 「Frame Sequential」は、VGA/HDMIコネクタからのDLP Link 3D入力に対応します。
- 「Frame Sequential」/「Field Sequential」は、コンポジット/Sビデオコネクタからの HQFS 3D入力信号に対応します。
- 「Frame Packing」/「Side-by-Side (Half)」/「Top and Bottom」は、HDMI 1.4a 3D入力信号に対応します。

3D

- 「オフ」を選ぶと3D機能が無効になります。
- 「オン」を選ぶと3D機能が有効になります。
- 自動：HDMI 1.4a 3Dタイミング識別信号が検出されると、3D画像が自動的に選択されます。

3D反転

DLP 3Dグラス着用中にディスクリートまたはオーバーラップ画像を見る場合、正しい画像を表示するには「逆転」を実行して左右画像の最適なシーケンスを得る必要があります。

3D映像フォーマット

この機能で3D形式を選択します。オプションは以下の通りです：「Frame Packing」、「Side-by-Side(Half)」、「Top and Bottom」、「Frame Sequential」および「Field Sequential」です。

1080p@24

この機能は1080p@24フレーム圧縮モードで3Dグラスを着用して、96または144Hzリフレッシュレートを選択するのに使用します。

ユーザーコントロール

LAN

❖ IP、サブネットマスク、ゲートウェイおよびDNS設定については、ウェブ制御ページにアクセスしてください。ウェブ制御ページへのアクセス方法は36ページをご参照ください。

ステータス

ネットワーク接続状態を表示します。

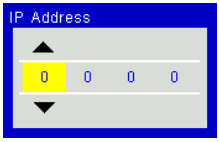
DHCP

DHCP設定を行います。

- オン：「オン」を選択すると、プロジェクターがネットワークからIPアドレスを自動的に取得できるようになります。
- オフ：「オフ」を選択すると、IP、サブネットマスク、ゲートウェイおよびDNS構成を手動で割当てることができます。

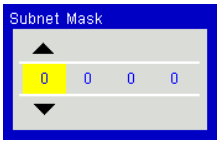
IPアドレス

IPアドレスを表示します。



サブネットマスク

サブネットマスク番号を選択します。

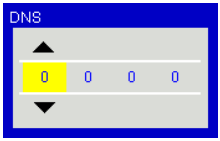


ゲートウェイ

プロジェクターに接続されるネットワークのゲートウェイを表示します。

DNS

DNS番号を表示します。



MACアドレス

MACアドレスを表示します。

グループ名

グループ名を表示します。

プロジェクター名

プロジェクター名を表示します。

位置

プロジェクターの位置を表示します。

連絡先

問い合わせ先情報を表示します。

ユーザーコントロール

ウェブブラウザを使用してプロジェクターを制御する方法

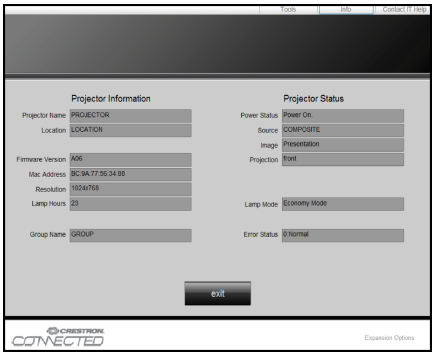
1. DHCPをオンにすると、DHCPサーバが自動的にIPを割り当てますし、または必要なネットワーク情報を手動で入力もできます。

2. 次に適用を選択し、ボタンを押して構成プロセスを完了します。OK
3. ブラウザを起動させ、OSD LAN画面でIPアドレスを入力すると、下図のようなウェブページが表示されます。

❖ プロジェクターのIPアドレスを使用するときは、サービスサーバーにリンクできません。

4. ネットワークウェブページでの「ツール」タブの入力ストリングでは、入力長さ制限は下のリストにあります(「スペース」およびその他の句読点キーも含む):

カテゴリ	項目	入力長さ(文字)
Crestronコントロール	IPアドレス	15
	IP ID	2
	ポート	5
プロジェクター	プロジェクター名	10
	位置	9
	割当て先	9
ネットワーク設定	DHCP (有効)	(該当しない)
	IPアドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトゲートウェイ	15
	DNSサーバ	15
ユーザパスワード	有効	(該当しない)
	新しいパスワード	15
	確認	15
管理者パスワード	有効	(該当しない)
	新しいパスワード	15
	確認	15



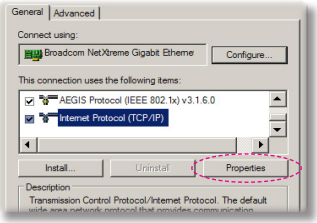
お持ちのコンピュータからプロジェクターに直接接続する場合

ステップ1：プロジェクターのLAN機能からIPアドレス(192.168.0.100)を見つけます。

ステップ2：適用を選択し「入力する」ボタンを押して機能を送信するか、「メニュー」キーを押して終了します。

ステップ3：ネットワーク接続を開始するには、**スタート**、**コントロールパネル**、**ネットワークとインターネット接続**を順にクリックし、**ネットワーク接続**をクリックします。設定したい接続をクリックし、**ネットワークタスク**から、この**接続の設定を変更する**をクリックします。

ステップ4：**全般**タブの**この接続は次の項目を使用します**から**インターネットプロトコル(TCP/IP)**を選択し「プロパティ」をクリックします。

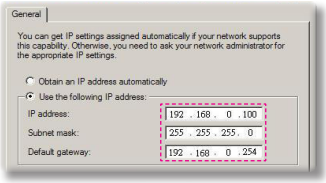


ステップ5：次の**IPアドレスを使う**をクリックしてから下記のように入力します。

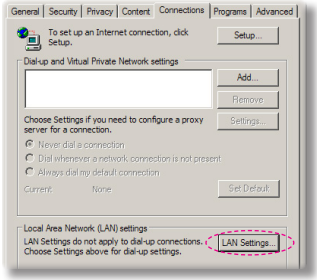
1) IPアドレス：192.168.0.100

2) サブネットマスク：255.255.255.0

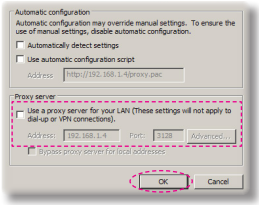
3) デフォルトゲートウェイ：192.168.0.254



ステップ6：インターネットオプションを開くには、IEウェブブラウザを起動させ、インターネットオプションをクリックし、**接続タブ**をクリック、[LANの設定]をクリックします。



ステップ7：ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定ダイアログボックスが表示されます。**プロキシサーバー関連項目**において**LANにプロキシサーバーを使用する**チェックボックスのチェックを外してから「OK」ボタンを2回クリックします。



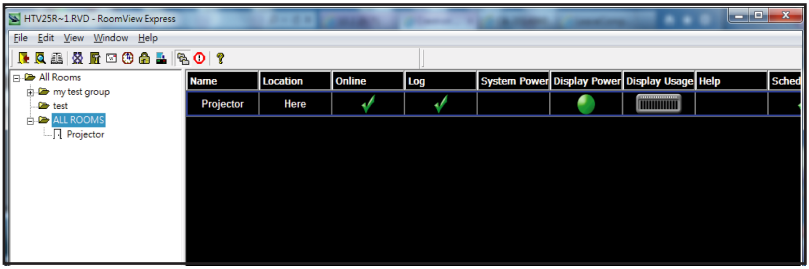
ステップ8：IEを開きURLの192.168.10.100のIPアドレスを入力し、[Enter]キーを押します。

ユーザーコントロール

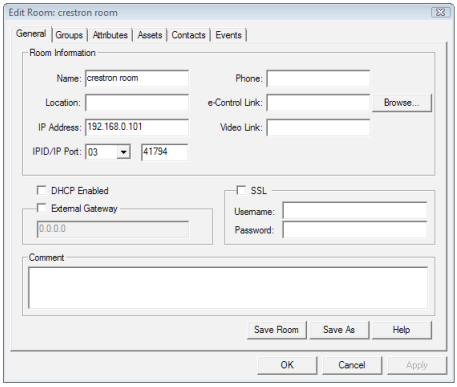
Crestronルームビュー制御ツール

Crestronルームビュー™は、1つのイーサネットネットワーク(複数も可能、数はIP IDとIPアドレスの組み合わせに依存)上の250+コントロールシステムを対象とした、集中モニタリングステーションを提供します。Crestronルームビューは、プロジェクターのオンライン状態、システム電源、ランプ寿命、ネットワーク設定、およびハードウェアエラー、さらに管理者によって定義される任意のカスタム属性を含めて、各プロジェクターをモニタします。管理者はルーム情報、連絡先、およびイベントを追加、削除、編集することができ、全てのユーザーのためにソフトウェアによって自動的に記録されます。(操作UIは下図参照)

1.主要画面



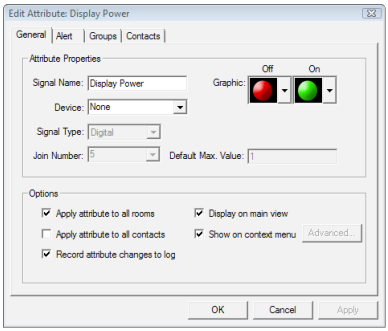
2.編集ルーム



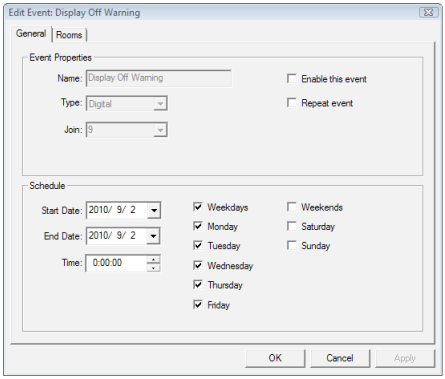
NOTE

- Crestron Room-View の機能は製品のモデルおよび仕様に従って設定されます。

3.属性の編集



4.イベントの編集



詳細情報については下記にアクセスしてください：
http://www.crestron.com & www.crestron.com/getroomview。

マルチメディア

マルチメディアファイルへのアクセス

このプロジェクターは下記デバイスに保存されたメディアファイル(写真、ビデオ、音楽、文書)を投影するための2つの方法をサポートしています。

a. ワイヤレスドングルを介して (オプション)ー携帯電話、タブレットパソコン、ノートブックパソコンまたはデスクトップパソコンに保存されたメディアファイルにワイヤレスにアクセスします。

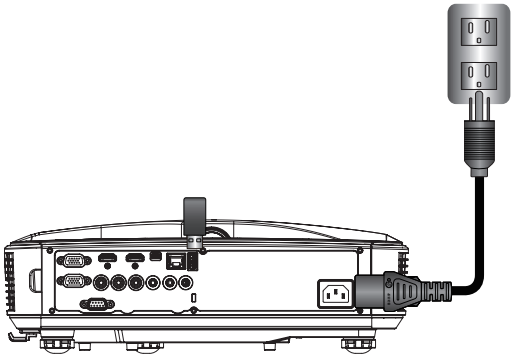
b. USBフラッシュドライブを介してーデバイスに保存されたメディアファイルに直接アクセスします。

NOTE

- マルチメディアソースモードでは、キーパッドのMENUキーはEXITキーとして動作します。ユーザーはキーパッドの「電源」キーを押してから「MENU」キーを押すことで、マルチメディアソースモードでのMENU OSDを表示できます。
- 自動ソースがオンのとき、ユーザーがマルチメディアソースを選択していた場合、システムはマルチメディアを検索し、そうでない場合はマルチメディアソースをスキップします。
- プロジェクターは自動的に***マルチメディア***システムを再起動し、数時間操作しなかった場合はマルチメディアメニューに戻ります。

「マルチメディア」モードにアクセスする方法

1. ワイヤレスドングルまたはUSBフラッシュドライブをプロジェクターの背面に付いているUSBコネクタに差し込みます。

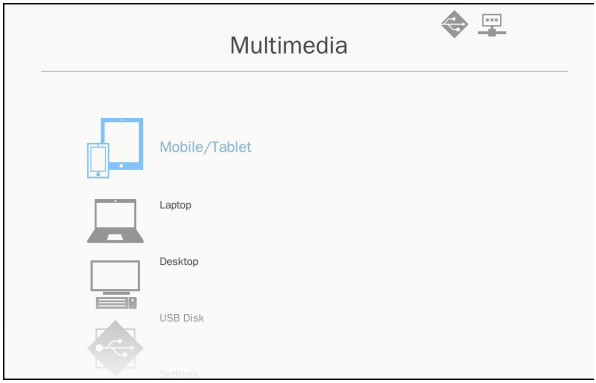


2. **プロジェクターの電源をオンにします。**リモコンまたは コントロールパネルの「INPUT（入力）」 ボタンを押して、入力メニューが表示されたら、▲▼キーを押して「マルチメディア」を選択し、「Enter」キーを押すと確定します。

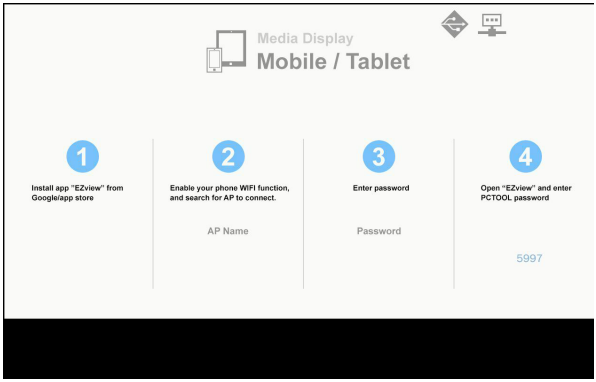
モバイル表示

モバイルデバイスまたはタブレットパソコンに保存されたメディアファイルにアクセスするには下記を実行します。

1. **マルチメディア** メニューで、**モバイル/タブレット**を選択します。



2. モバイルデバイスまたはタブレットPC上で、「EZ-View」アプリをApp Store (iOS)またはPlay Store (Android)からダウンロードします。



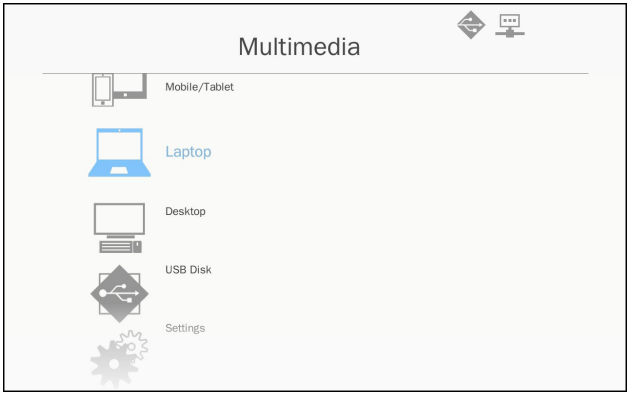
3. モバイルデバイスまたはタブレットパソコンのWiFi機能を有効にし、Wi-Fiネットワークリストに一覧表示されたAP名を探します。
4. WIFIへの最初の接続では、パスワードを入力するように指示されます。ステップ2では、画面上のAP名をパスワードとして入力します。
5. ステップ3では、「EZ-View」アプリを起動し、PCTOOLのパスワードを入力します。
6. 接続が確立されるまで待ちます。これで、モバイルデバイスまたはタブレットPC上のメディアファイルにプロジェクターからアクセスすることができます。

マルチメディア

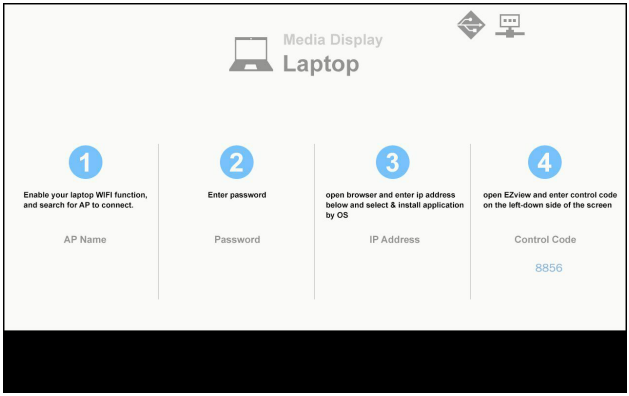
ラップトップ表示

ラップトップ/ノートブックパソコンに保存されたメディアファイルにアクセスするには下記を行います。

1. **マルチメディア**メニューで、**ラップトップ**を選択します。



2. ラップトップ/ノートブックパソコンのWiFi機能を有効にし、Wi-Fiネットワークリストに一覧表示されたAP名を探します。



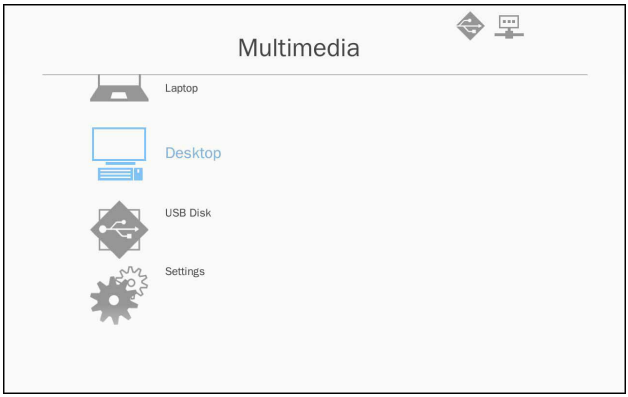
3. WIFIへの最初の接続では、パスワードを入力するように指示されます。ステップ2のように、パスワードを入力します。
4. ウェブブラウザを開いて、同一のサブネットのIPアドレスを入力します。次に、画面左側にある「Wif」を選択して、オペレーティングシステムに対応したアプリケーションをインストールします。
5. インストール完了状態。「EZ-View」アプリを起動し、画面右下にあるコントロールコードを入力します。

6. 接続が確立されるまで待ちます。これで、ラップトップ/ノートブックパソコン上のメディアファイルにプロジェクターからアクセスすることができます。

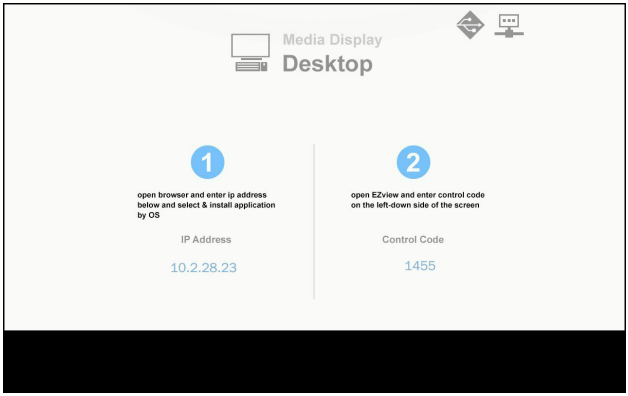
デスクトップ表示

デスクトップパソコンに保存されたメディアファイルにアクセスするには下記を実行します。

1. ***マルチメディア***メニューで**デスクトップ**を選択します。



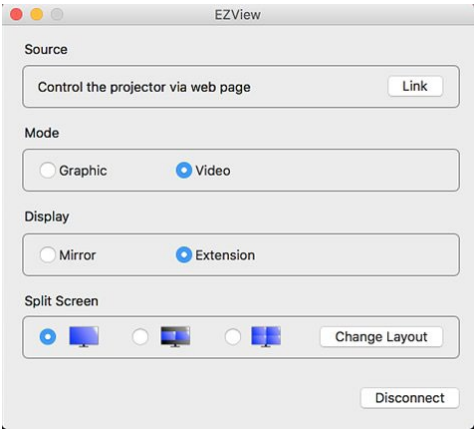
2. ウェブブラウザを開いて、IPアドレスを入力します。次に、画面左側にある「Wifi」を選択して、オペレーティングシステムに対応したアプリケーションをインストールします。



3. インストール完了状態。「EZ-View」アプリを起動し、画面右下にあるコントロールコードを入力します。
4. 接続が確立されるまで待ちます。これで、デスクトップパソコン上のメディアファイルにプロジェクターからアクセスすることができます。

EZ-View

1. EZ-Viewアプリを起動する前に、ユーザーは画面に表示されたパスワードを入力する必要があります。
2. アプリでは、画像を複製表示する以下の機能が提供されます。
3. モード選択：グラフィックモードでは、低いリフレッシュレートでより良い画質が得られます。ビデオモードでは、ビデオ表示用に高いリフレッシュレートが使用されます。
4. 表示先の選択：デスクトップまたは拡張デスクトップが、ノートブックまたはPCに表示できます。
5. 画像の分割：画面を異なるユーザー間でミラー表示できます。画面の最大数は4です。



NOTE

- PowerPointアニメーションには対応していません。
- MMA対応リストの詳細は付録をご参照ください。

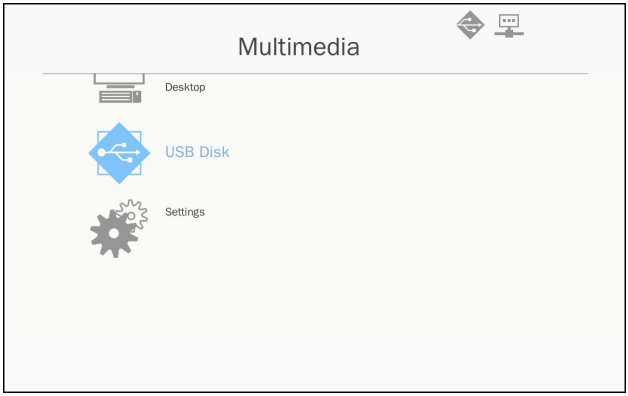
USBストレージ表示

USBフラッシュドライブに保存されたメディアファイルにアクセスするには、下記を行います。

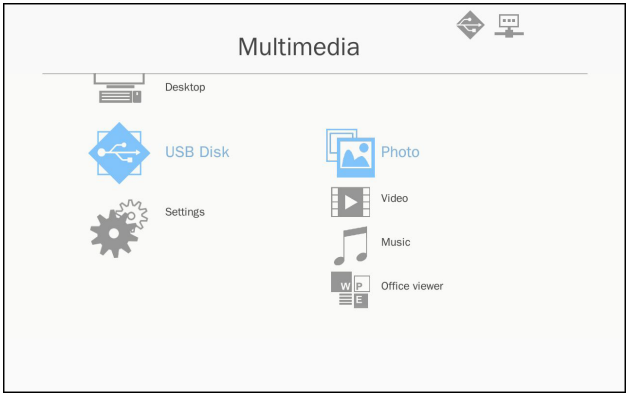
サポートされるファイルフォーマット

マルチメディアカテゴリ	ファイル形式
写真	BMP、JPG、PNG
音楽	MP3、WMA
ビデオ	AVI、MOV、MP4、RM、RMVB、DAT、MPG、ISO、TS、MKV、VOBとWMV
ドキュメント	WORD、EXCEL、PPT*、PDF

1. **マルチメディア**メニューで**USBディスク**を選択します。USBを選択すると遅延する場合があります。これはUSBメディアのスタンバイをする結果です。



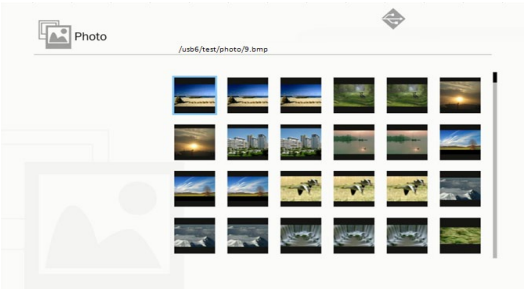
2. ▲▼キーを使用してファイルカテゴリを選択し、「入力する」キーを押します。



3. ▲▼キーを使用して表示/再生しようとするファイルを選択し、「入力する」キーを押します。

写真

1. フォトを選択すると、ファイルリストが表示されます。
   上、下、左、右キーで写真を選択します。

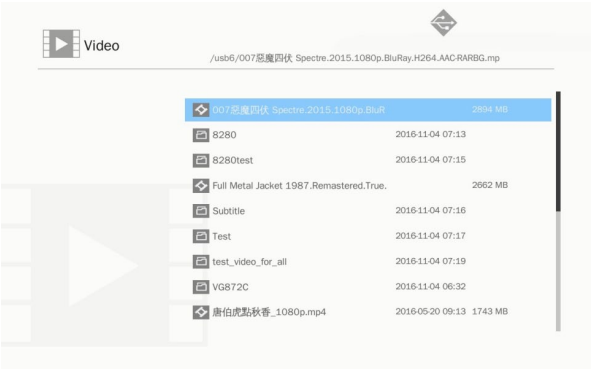


2. 写真を選び、「Enter」キーを押します。
   Enterキーを押すと、ツールバーが表示され、再度押すと非表示になります。
   ツールバーには、回転、全画面(元のアスペクト比を保持)、前の画像、次の画像、スライドショー、削除、画像情報、および終了が含まれます。
   ユーザーは先ず「Enter」キーを押してツールバーから機能を一つ選択し、さらに「Enter」を押して機能の各種項目を設定します。それから、左/右キーを押して前/次の機能へ移動します。ユーザーが回転/ズームを選択した場合、「Enter」キーを押して異なるオプションを切り替えられます。「Exit」キーを押すと、この機能を終了します。

機能	定義
	角度変化：0、90、180、270 Enterキーでループ Backキーで保存せずに終了
	ズームイン：x1、x2、x3、x4 Enterキーでループ ズームインモードでは、矢印キーで表示を移動させます。 Backキーで保存せずに終了
	全画面 アスペクト比を保ち保存しません
	前の画像
	次の画像
	スライドショー 押して開始、再度押すと停止
	USBディスクから削除
	内部メモリへコピー このモデルでは非対応
	情報
	ツールバーを閉じる

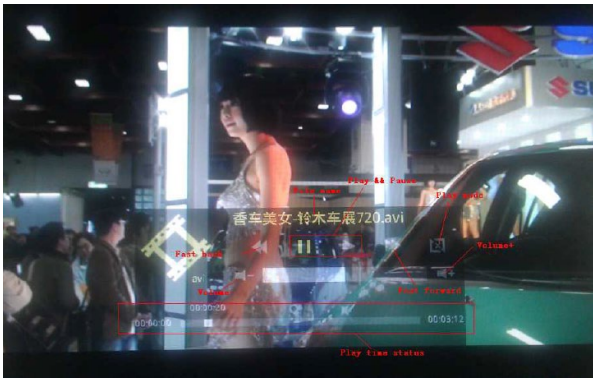
ビデオ

1. ビデオファイルを選択すると、ファイルリストが表示されます。上/下キーでビデオファイルを選択します。



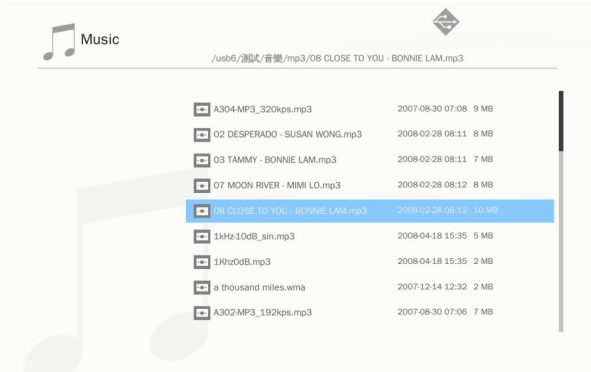
2. ビデオファイルを選択し、Enterキーを押すとビデオが再生されます。
   Enterキーを押すと、ツールバーが表示され、再度押すと非表示になります。

機能	キー定義
戻す	左キー
送る	右キー
再生/ポーズ	エンター
ディスプレーモード	再生モードがリピートか単回かのみ表示されます。 再生モードの設定には、ユーザーは設定/ビデオ/リピートモードからリピートモードを変更できます。

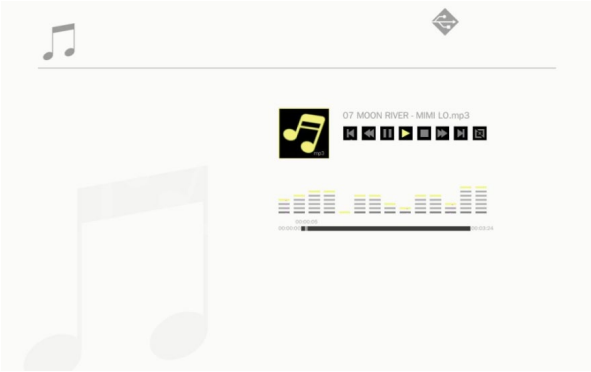


音楽

1. 音楽を選択すると、ファイルリストが表示されます。
   上/下キーでオーディオファイルを選択します。



2. オーディオファイルを選択し、Enterキーを押すと音楽が再生されます。

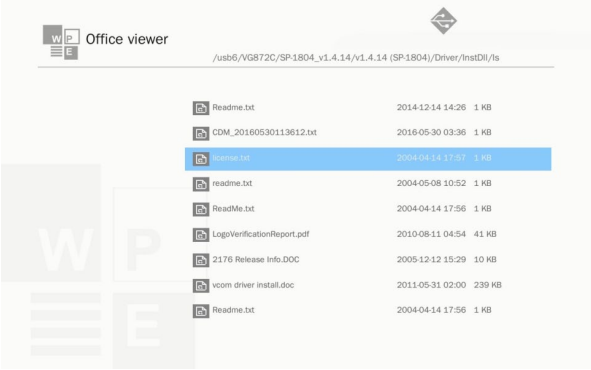


機能	キー定義
前のファイル	上キー
次のファイル	下キー
戻す	左キー
送る	右キー
再生/ポーズ	エンター
ディスプレーモード	再生モードがリピートか単回かのみ表示されます。 再生モードの設定には、ユーザーは設定/音楽/リピートモードからリピートモードを変更できます。

マルチメディア

Officeビューアー

1. Officeビューアーを選択すると、ファイルリストが表示されます。
   上/下キーで文書ファイルを選択します。



2. 文書を選択し、Enterキーを押します。
   Enterキーを押すと、ツールバーが表示され、再度押すと非表示になります。
   ツールバーには、スクリーンパン、ズームイン、ズームアウト、情報が含まれます。

機能	定義
	表示を左へ移動 Enterキーを使用
	表示を右へ移動 Enterキーを使用
	表示を上へ移動 Enterキーを使用
	表示を下へ移動 Enterキーを使用
	ズームイン Enterキーを使用
	ズームアウト Enterキーを使用
	ディスプレーモード 註3を参照

	ツールバーを閉じる Enterキーを使用

*註1. デコーディング時間は、ファイル内のオブジェクト数に依存します。ファイルサイズには依存しません。

*註2. Officeビューアーは各文書ファイルによって表示比率を設定します。

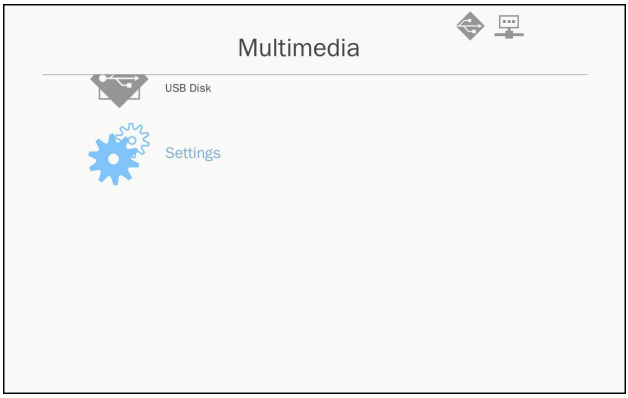
*註3. 表示モードの動作：

1. 表示モードを選択しEnterキーを押してから左/右キーで「画面に合わせる、画面高さに合わせる」を選び、Enterキーで確定します。
2. Exitキーで表示モードを終了し、左/右キーでその他の機能を選択します。

マルチメディア設定の構成

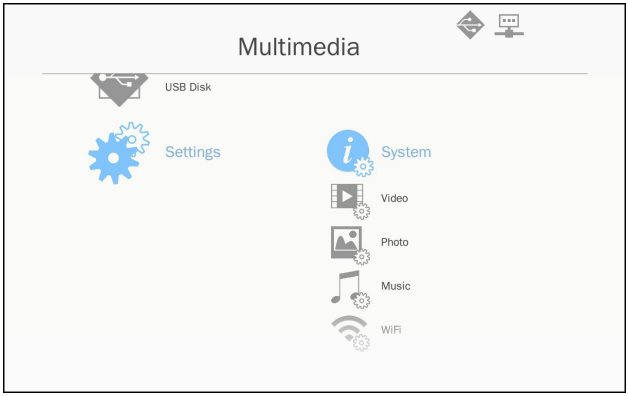
設定を変更するには下記を行います。

1. ***マルチメディア***メニューで**設定**を選択します。



2. ▲▼キーを使用して必要なメニューオプションを選択し、「入力する」キーを押してサブメニューに入ります。

マルチメディア

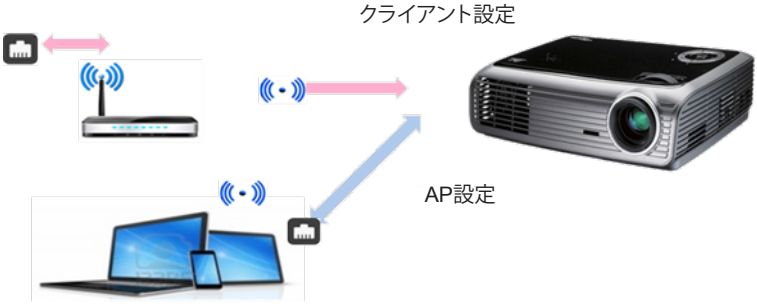


- システム：このオプションを選択してファームウェアバージョンを表示し、ファームウェアを更新します。
- ビデオ：このオプションを選択し、表示比率を変更してリピートモードを設定します。
- 写真：このオプションを選択して表示比率、スライドショーパターンおよびスライドショー持続時間を変更します。
- 音楽：このオプションを選択してリピートモードを設定します。
- WiFi：このオプションを選択してWi-Fi接続を構成します。

3. ▲▼キーを使用して設定を調整/選択し、「入力する」キーを押して確定します。

WiFi設定

WIFI設定には、ユーザーはAP設定およびクライアントモード設定を行う必要があります。これは下図に示されたネットワーク構成に依存します。



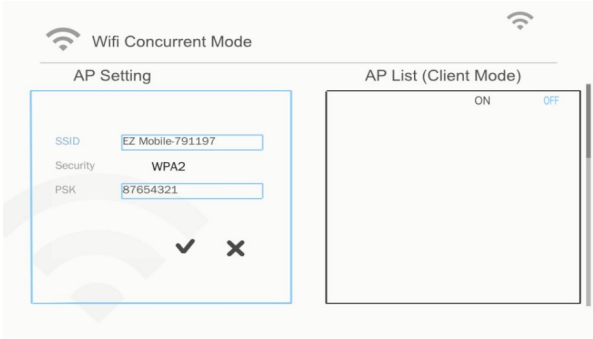
✓ AP設定

AP設定は、プロジェクターおよびユーザーPC間でのSSIDを定義します。プロジェクターはWIFIアクセスポイントとして動作します。PC/ノートブックはこのWIFIアクセスポイントに接続して、EZ-Viewソフトウェアによってマルチメディアのミラーリング/ストリーミング機能が使用できます。この設定はアクセスポイントと同様で、ユーザーはSSID名、パスワードをここで設定できます。

✓ クライアントモード設定

マルチメディアカードでは、プロジェクターはアクセスポイントとして動作しますが、パブリックWIFIアクセスポイントへのクライアントとしても動作します。つまり、プロジェクターはワイヤレスでインターネットに接続できます。ノートブックからインターネットに接続するのと同様、ユーザーは適切なアクセスポイントを選択してパスワードを入力する必要があります。プロジェクターおよびアクセスポイントから、ユーザーはWIFI接続経由でインターネットにアクセスできます。プロジェクターがRJ45経由でインターネットに接続している場合、この設定はスキップできます。

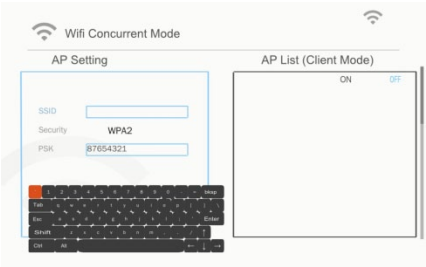
ユーザーは左/右キーでAP設定およびクライアントモード設定の切り換えができます。上/下キーでせっていでの各項目に移動します。



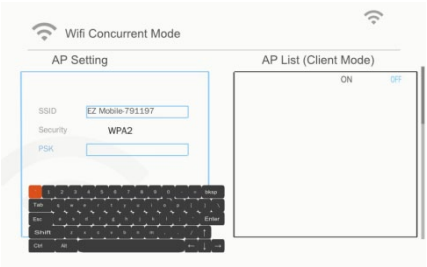
AP設定では、ユーザーはSSID名、およびPSK項目でのパスワードが設定できます。セキュリティ抗告は変更できません。APモードでのWPA2暗号化のみ対応します。

項目の設定は以下の手順で行います。

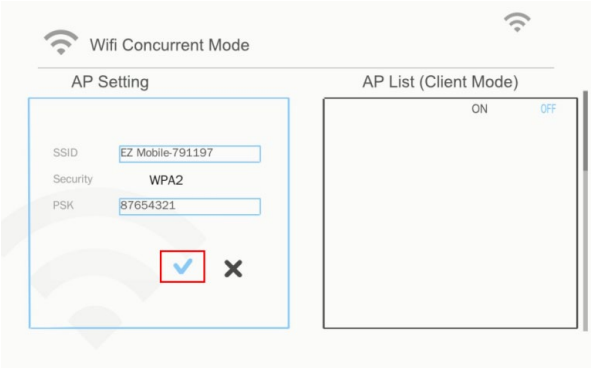
1) 上/下キーで青いカーソルを移動させ、 SSID項目を選択してからEnterキーを押します。仮想キーボードが表示され、SSIDがブランクとなって入力待ちになります。入力後、リモコンのExitキーを押して、上/下キーで前/次の項目へ移動します。



2) 上/下キーでPSK項目に移動します。それからケース1の手順に従ってPSKを入力します。最低8文字必要です。

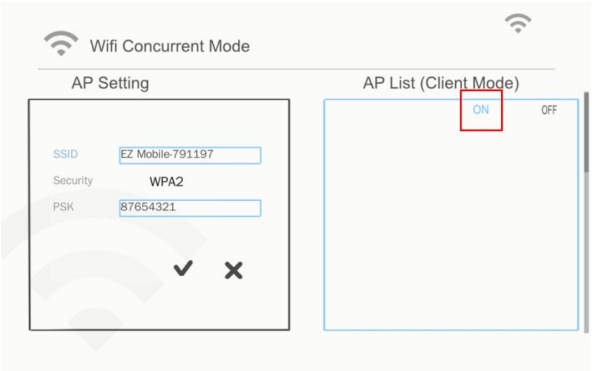


3) それから上/下キーで 「V」を選択してから、EnterキーでAP設定を終了します。プロジェクターのメディアカードが再起動されるのに数秒間待ちます。せっていをキャンセルする場合、「X」ボタンに移動してEnterキーを押します。SSIDおよびPSK設定が元の設定に戻ります。

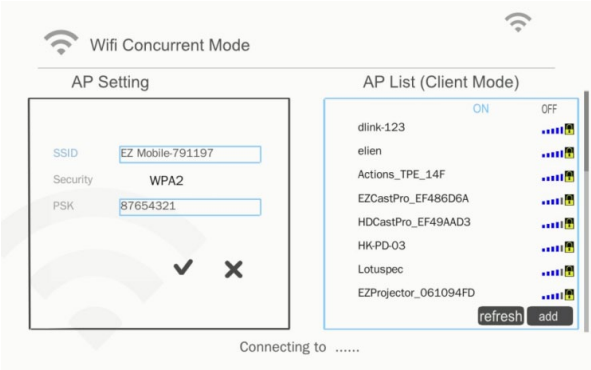


プロジェクターをワイヤレスでインターネットに接続させる場合、ユーザーはクライアントモードの設定が必要です。左/右キーを使ってアクティブウィンドウをクライアントモードにし、以下の手順で設定します。

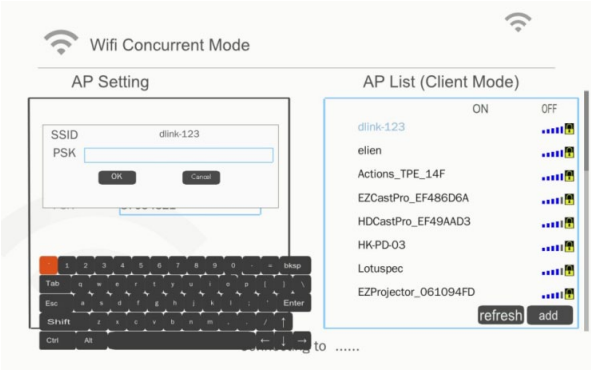
1) 上/下キーで青いカーソルを移動させ、APリスト(クライアントモード)の「on」を選択してからEnterキーを押します。



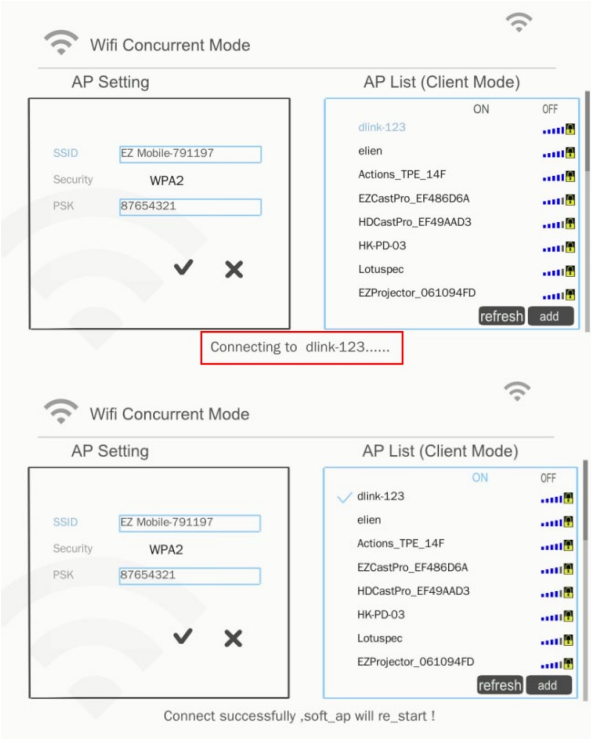
2) 上・下キーで接続するWIFIルーターを選択してからEnterキーを押します。



3) アクセスポイントを選択してから、ユーザーは左側のPSKウィンドウにパスワードを入力してから、OKを選択して続行します。



4) 接続状態が底部に表示され、接続が確立されると成功の表示が出ます。アクセスポイントの表示が青くなっているのを確認します。



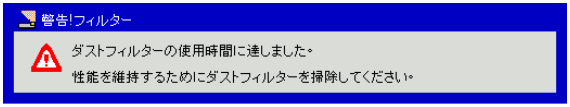
NOTE

- セキュリティ上の理由により、セキュリティ項目は変更できず、APモードでのWPA2暗号化のみ対応します。クライアントモード設定では、WPA/WPA2に対応します。

防塵フィルターの取り付けおよび清掃

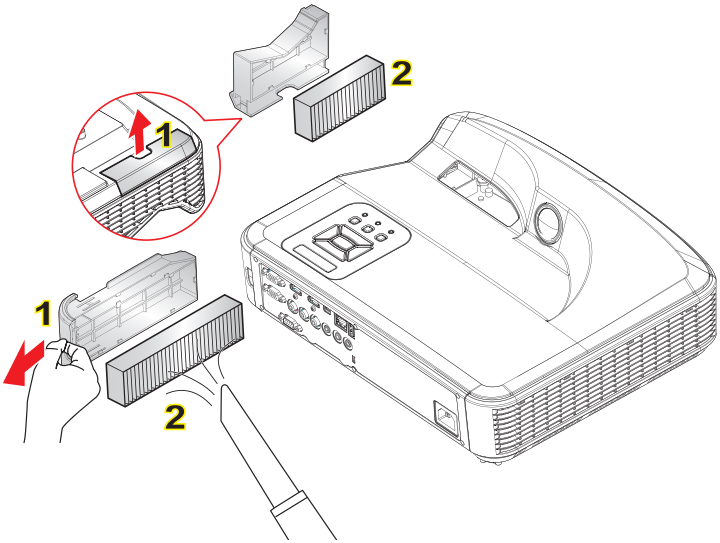
500時間の運転毎、または埃の多い環境でプロジェクターを使用する場合はそれ以上に頻繁にダストフィルターを掃除することをお勧めします。

画面に警告メッセージが表示されたときは、下記を行ってエアフィルター
を掃除して



NOTE

- ホコリの多い環境では、オプション装備の防塵フィルターを使用します。
- 防塵フィルターが装着されている場合、プロジェクターの過熱または故障を避けるには、適切なメンテナンスを行ってください。
- 型式の仕様に関して特定のインタフェースを選択します。



エアフィルター清掃手順

1. 「⏻」ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. 電源コードを外します。
3. 図に示すとおりに、ダストフィルタを引き出します。1
4. ダストフィルタを慎重に取り外します。次に、フィルタを清掃または交換します。2

フィルターを装着するには、上記手順を逆に行います。

5. ダストフィルター交換後、プロジェクターの電源を入れ、フィルター使用カウンタをリセットします。

MMA対応リスト

画像

画像形式	プロファイル	色空間	サイズ制限
JPEG	ベースライン	YUV400	8000 x 6000
		YUV420	8000 x 6000
		YUV422	8000 x 6000
		YUV440	8000 x 6000
		YUV444	8000 x 6000
	プログレッシブ	YUV400	幅<= 10240 & 高さ<= 6400
		YUV420	
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
BMP	無制限	無制限	無制限

音声

オーディオ形式	サンプリングレート(KHz)	ビットレート(Kbps)
MP1/MP2/MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320
OGG	8-48	64-320
ADPCM-WAV	8-48	32-384
PCM-WAV	8-48	128-1536

付録

ビデオ

ファイル識別子	オーディオ/ビデオ	コーデック	プロファイル/レベル対応	説明
.avi .mkv	ビデオ	MJPEG	最大1080P 30 fps 80 Mbps	
		H.264/AVC	最大ハイプロファイル、レベル1 - 4.1 (1080P 30 fps 25 Mbps)	6参照フレーム未満に対応
		XVID	最大アドバンスシンプル・プロファイルまで (1080P 30 fps 30 Mbps)	
		WMV3 (WMV Ver 9)	最大メインプロファイル; ロー、ミディアムレベル (1080P 30 fps 25 Mbps)	
		MPEG2	メインプロファイル、ローおよびメインレベル (1080P 30 fps 30 Mbps)	
		MPEG4	アドバンスシンプルプロファイル (フレームピクチャ)、レベル0-5 (1080P 30 fps 30 Mbps)	
.avi .mkv	ビデオ	VC-1	シンプルおよびメインプロファイル; ロー、ミディアムおよびハイレベル (1080P 30 fps 25 Mbps)	VC-1アドバンスプロファイル未対応
	音声	MPEG-1 Layer I, II		
		MPEG-1 Layer III (mp3)		
		PCM		
		ADPCM		

.ts	ビデオ	MPEG2	メインプロファイル、ローおよびメインレベル (1080P 30 fps 30 Mbps)	
		H.264/AVC	最大ハイプロファイル、レベル1 - 4.1 (1080P 30 fps 25 Mbps)	6参照フレーム未満に対応
.ts	ビデオ	MPEG-1 Layer I, II		
		MPEG-1 Layer III (mp3)		
		LPCM		
.dat .vob .mpg .mpeg	ビデオ	MPEG1	メインプロファイル、ローおよびメインレベル (1080P 30 fps 30 Mbps)	D-picture未対応
		MPEG2	メインプロファイル、ローおよびメインレベル (1080P 30 fps 30 Mbps)	
	音声	MPEG-1 Layer I, II		
		MPEG-1 Layer III (mp3)		
		LPCM		
.mov .mp4	ビデオ	MPEG4	アドバンスシンプルプロファイル (フレームピクチャ)、レベル0-5 (1080P 30 fps 30 Mbps)	
		H.264/AVC	最大ハイプロファイル、レベル1 - 4.1 (1080P 30 fps 25 Mbps)	6参照フレーム未満に対応
	音声	AMR		
		PCM		
		ADPCM		

.wmv	ビデオ	WMV3 (WMV Ver 9)	最大メインプロファイル; ロー、ミディアムレベル (1080P 30 fps 25 Mbps)	
	音声	WMA2 (WMA Ver 9 & Ver 9.1)		WMA Ver 9 Pro 未対応

サブタイトル

フォーマット	フォント	サブタイトルサイズ
標準SRT	UTF-8 / UTF-16	8ビット、最大1280 x 800
SMI		
SSA/ASS		

注意：サブタイトルファイルでの混在コードには対応しません。

Officeビューアー

ファイル形式	対応バージョン	ページ/行制限	サイズ制限	コメント
Adobe PDF	PDF 1.0	最大1000ページ (1つのファイル)	最大75MB	
	PDF 1.1			
	PDF 1.2			
	PDF 1.3			
	PDF 1.4			
MS PowerPoint	英国PowerPoint 97	最大1000ページ(1つのファイル)	最大19MB	スライドショー指令は未対応
	PowerPoint 2000、2002、2003			
	PowerPoint 2007 (.pptx)			
	PowerPoint 2010 (.pptx)			
	Office XP PowerPoint			
	PowerPointプレゼンテーション—2003およびそれ以前 (.ppx)			
	PowerPointプレゼンテーション—2007および2010 (.ppsx)			

MS Word	英国Word95	Officeビューアー はMS Wordファイルのページ全部を同時にロードするわけではないので、ページや行に制限はありません。	最大100MB	中国語簡体字フォントでは太字体に未対応
	Word 97、2000、2002、2003			
	Word 2007 (.docx)、2010 (.docx)			
MS Excel	英国Excel 95	行制限：最大595	最大15MB	パスワード保護シートは未対応
	Excel 97、2000、2002、2003	行制限：最大595		
	Excel 2007 (.xlsx)、2010 (.xlsx)	シート：最大100		
	Office XP Excel			

注意：上記の制限3種が同時に1つのExcelファイルに現われることはありません。

ストレージ

ストレージ	デバイスのタイプ	ファイルシステム	ファイルおよびディレクトリレベル
内部メモリ	TLC/MLC/SLC 8/12/24/40/60ビットECC NAND	FAT16、FAT32 NTFS、ExFAT	最大999ディレクトリおよび最大9,999ファイル対応 最大10層のディレクトリ対応
USB	USBフラッシュ、USBドライブ		
SDカード	SDHC、SDXC		

250GBを超える外付けハードディスクドライブへの接続は推奨されません。

互換性モード

VGAアナログ

a. PC信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
VGA	640 x 480	60	31.5
	640 x 480	67	35.0
	640 x 480	72	37.9
	640 x 480	75	37.5
	640 x 480	85	43.3
	640 x 480	120	61.9
IBM	720 x 400	70	31.5
SVGA	800 x 600	56	35.1
	800 x 600	60	37.9
	800 x 600	72	48.1
	800 x 600	75	46.9
	800 x 600	85	53.7
	800 x 600	120	77.4
Apple、MAC II	832 x 624	75	49.1
XGA	1024 x 768	60	48.4
	1024 x 768	70	56.5
	1024 x 768	75	60.0
	1024 x 768	85	68.7
	1024 x 768	120	99.0
Apple、MAC II	1152 x 870	75	68.7
SXGA	1280 x 1024	60	64.0
	1280 x 1024	72	77.0
	1280 x 1024	75	80.0
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0
	1280 x 960	75	75.2
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3
UXGA	1600 x 1200	60	75.0

b. 伸張ワイドタイミング			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
WXGA	1280 x 720	60	44.8
	1280 x 800	60	49.6
	1366 x 768	60	47.7
	1440 x 900	60	59.9
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3
c. コンポーネント信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
480i	720x480 (1440x480)	59.94 (29.97)	15.7
576i	720x576 (1440x576)	50 (25)	15.6
480p	720 x 480	59.94	31.5
576p	720 x 576	50	31.3
720p	1280 x 720	60	45.0
	1280 x 720	50	37.5
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8
	1920 x 1080	50 (25)	28.1
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0
	1920 x 1080	60	67.5
	1920 x 1080	50	56.3

HDMIデジタル

a. PC信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
VGA	640 x 480	60	31.5
	640 x 480	67	35.0
	640 x 480	72	37.9
	640 x 480	75	37.5
	640 x 480	85	43.3
	640 x 480	120	61.9
IBM	720 x 400	70	31.5
SVGA	800 x 600	56	35.1
	800 x 600	60	37.9
	800 x 600	72	48.1
	800 x 600	75	46.9
	800 x 600	85	53.7
	800 x 600	120	77.4
Apple、MAC II	832 x 624	75	49.1
XGA	1024 x 768	60	48.4
	1024 x 768	70	56.5
	1024 x 768	75	60.0
	1024 x 768	85	68.7
	1024 x 768	120	99.0
Apple、MAC II	1152 x 870	75	68.7
SXGA	1280 x 1024	60	64.0
	1280 x 1024	72	77.0
	1280 x 1024	75	80.0
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0
	1280 x 960	75	75.2
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3
UXGA	1600 x 1200	60	75.0

b. 伸張ワイドタイミング			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
WXGA	1280 x 720	60	44.8
	1280 x 800	60	49.6
	1366 x 768	60	47.7
	1440 x 900	60	59.9
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3
c. ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
480p	640 x 480	59.94/60	31.5
480i	720x480 (1440x480)	59.94 (29.97)	15.7
576i	720x576 (1440x576)	50 (25)	15.6
480p	720 x 480	59.94	31.5
576p	720 x 576	50	31.3
720p	1280 x 720	60	45.0
	1280 x 720	50	37.5
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8
	1920 x 1080	50 (25)	28.1
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0
	1920 x 1080	60	67.5
	1920 x 1080	50	56.3
d. HDMI 1.4a強制3Dタイミング- ビデオ信号			
モード	解像度	垂直周波数[Hz]	水平周波数[Hz]
Frame Packing	720p	50	31.5
	720p	59.94/60	15.7
	1080p	23.98/24	15.6
Side-by-Side (Half)	1080i	50	31.5
	1080i	59.94/60	31.3
Top and Bottom	720p	50	45.0
	720p	59.94/60	37.5
	1080p	23.98/24	33.8

付録

RS232プロトコル機能リスト

		A. VGAアナログ			
		(1) PC信号			
モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]	ピクセルクロック[MHz]	EDID内容
VGA	640 x 480	60	31.5	25..2	確立されたタイミング1
	640 x 480	67	35.0	26.8	確立されたタイミング1
	640 x 480	72	37.9	31.5	確立されたタイミング1
	640 x 480	75	37.5	31.5	確立されたタイミング1
	640 x 480	85	43.3	36.0	
IBM	720 x 400	70	31.5	28.3	確立されたタイミング1
SVGA	800 x 600	56	35.1	36.0	確立されたタイミング1
	800 x 600	60	37.9	40.0	確立されたタイミング1
	800 x 600	72	48.1	50.0	確立されたタイミング2
	800 x 600	75	46.9	49.5	確立されたタイミング2
	800 x 600	85	53.7	56.3	
Apple、Mac II	832 x 624	75	49.1	57.3	確立されたタイミング2
XGA	1024 x 768	60	48.4	65.0	WXGA：確立されたタイミング2 XGA：確立されたタイミング2 および(ネイティブ)詳細タイミング/記述子ブロック1
	1024 x 768	70	56.5	75.0	確立されたタイミング2
	1024 x 768	75	60.0	78.8	確立されたタイミング2
	1024 x 768	85	68.7	94.5	
	1024 x 768	120	99.0	137.8	標準タイミング識別
Apple、Mac II	1152 x 870	75	68.7	100.0	製造元予備タイミング
SXGA	1280 x 1024	60	64.0	108.0	
	1280 x 1024	72	77.0	133.0	
	1280 x 1024	75	80.0	135.0	確立されたタイミング2
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0	101.3	標準タイミング識別
	1280 x 960	75	75.2	130.0	
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3	121.8	
UXGA	1600 x 1200	60	75.0	161.0	標準タイミング識別
		(2) 伸張ワイドタイミング			
WXGA	1280 x 720	60	44.8	74.2	標準タイミング識別
	1280 x 800	60	49.6	83.5	WXGA：(ネイティブ)詳細タイミング/記述子ブロック1 XGA：標準タイミング識別
	1366 x 768	60	47.7	84.8	
	1440 x 900	60	59.9	106.5	標準タイミング識別
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3	146.3	WXGA：標準タイミング識別 XGA：該当しない
	1920x720	60	44.35	92.25	
		(3) コンポーネント信号			
480i	720x480 (1440x480)	59.94 (29.97)	15.7	13.5	
576i	720x576 (1440x576)	50 (25)	15.6	13.5	
480p	720 x 480	59.94	31.5	27.0	
576p	720 x 576	50	31.3	27.0	
720p	1280 x 720	60	45.0	74.25	
720p	1280 x 720	50	37.5	74.25	
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8	74.25	
1080i	1920 x 1080	50 (25)	28.1	74.25	
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0	74.25	
1080p	1920 x 1080	60	67.5	148.5	
1080p	1920 x 1080	50	56.3	148.5	
		B. HDMIデジタル			
		(1) PC信号			
VGA	640 x 480	60	31.5	25..2	確立されたタイミング1
	640 x 480	67	35.0	26.8	確立されたタイミング1
	640 x 480	72	37.9	31.5	確立されたタイミング1
	640 x 480	75	37.5	31.5	確立されたタイミング1

	640 x 480	85	43.3	36.0	
IBM	720 x 400	70	31.5	28.3	確立されたタイミング1
SVGA	800 x 600	56	35.1	36.0	確立されたタイミング1
	800 x 600	60	37.9	40.0	確立されたタイミング1
	800 x 600	72	48.1	50.0	確立されたタイミング2
	800 x 600	75	46.9	49.5	確立されたタイミング2
	800 x 600	85	53.7	56.3	
Apple、Mac II	832 x 624	75	49.1	57.3	確立されたタイミング2
XGA	1024 x 768	60	48.4	65.0	WXGA：確立されたタイミング2 XGA：確立されたタイミング2 および(ネイティブ)詳細タイミング/記述子ブロック1
	1024 x 768	70	56.5	75.0	確立されたタイミング2
	1024 x 768	75	60.0	78.8	確立されたタイミング2
	1024 x 768	85	68.7	94.5	
	1024 x 768	120	99.0	137.8	標準タイミング識別
Apple、Mac II	1152 x 870	75	68.7	100.0	製造元予備タイミング
SXGA	1280 x 1024	60	64.0	108.0	
	1280 x 1024	72	77.0	133.0	
	1280 x 1024	75	80.0	135.0	確立されたタイミング2
QuadVGA	1280 x 960	60	60.0	101.3	標準タイミング識別
	1280 x 960	75	75.2	130.0	
SXGA+	1400 x 1050	60	65.3	121.8	
UXGA	1600 x 1200	60	75.0	161.0	標準タイミング識別
		(2) 伸張ワイドタイミング			
WXGA	1280 x 720	60	44.8	74.2	標準タイミング識別
	1280 x 800	60	49.6	83.5	WXGA：(ネイティブ)詳細タイミング/記述子ブロック1 XGA：標準タイミング識別
	1366 x 768	60	47.7	84.8	
	1440 x 900	60	59.9	106.5	標準タイミング識別
WSXGA+	1680 x 1050	60	65.3	146.3	WXGA：標準タイミング識別 XGA：該当しない
	1920x720	60	44.35	92.25	
		(3) HDMI - ビデオ信号			
640 x 480p	640 x 480	59.94/60	31.5	25.2	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
480i	720x480 (1440x480)	59.94 (29.97)	15.7	13.5	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
576i	720x576 (1440x576)	50 (25)	15.6	13.5	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
480p	720 x 480	59.94	31.5	27.0	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
576p	720 x 576	50	31.3	27.0	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
720p	1280 x 720	60	45.0	74.25	(ネイティブ) CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
720p	1280 x 720	50	37.5	74.25	(ネイティブ) CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
1080i	1920 x 1080	60 (30)	33.8	74.25	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
1080i	1920 x 1080	50 (25)	28.1	74.25	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
1080p	1920 x 1080	23.98/24	27.0	74.25	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
1080p	1920 x 1080	60	67.5	148.5	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
1080p	1920 x 1080	50	56.3	148.5	CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
		(4) HDMI 1.4a強制3Dタイミング- ビデオ信号			
Frame Packing	720p	50			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
	720p	59.94/60			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
	1080p	23.98/24			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
Side-by-Side	1080i	50			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
	1080i	59.94/60			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
Top-and-Bottom	720p	50			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
	720p	59.94/60			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
	1080p	23.98/24			CEA EDIDタイミングのショートビデオ記述子
		(5) 入力信号クロック範囲 アナログ：fh = 15 kHz ~ 100 kHz、fv = 24 Hz ~ 120 Hz、最大ピクセルレート：162.5 MHz デジタル(HDMI)：fh = 15kHz ~ 100kHz、fv = 24Hz ~ 120Hz、最大ピクセルレート：200MHz			

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これら制限は住居に設置した際に、有害な干渉への適切な保護を提供するために規定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変えます。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知：シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます：

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知：カナダのユーザー

当クラスBデジタル機器はカナダ規制ICES-003に準拠しています。

Remarque à l’intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国に対する適合宣言

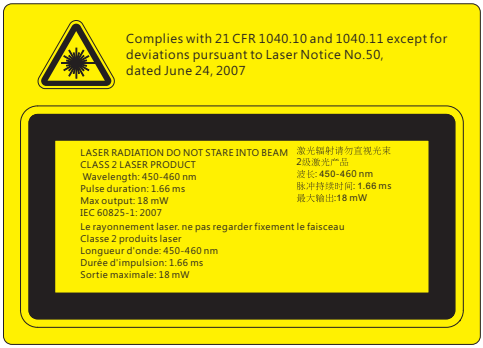
- EMC指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。

付録

安全上の注意



警告

- このプロジェクターは、IEC 60825-1:2007、CFR 1040.10および1040.11準拠のクラス2レーザー装置です。
- クラス2レーザー製品。レーザービームを見つめないでください。
- このプロジェクターはクラス4レーザーモジュールを内蔵しています。分解または変更は非常に危険であり、決して試みてはいけません。
- ユーザーガイドによって特に指示されてないどんな操作または調整でも、レーザーの放射にさらされる危険性を生み出します。
- プロジェクターを開けたり分解しないでください。レーザー放射の暴露によって負傷することがあります。
- プロジェクターの電源が入っているときにレーザービームを見つめないでください。明るい光によって目に永続的な障害が生じる恐れがあります。
- コントロール、調整または操作手順に従わないと、レーザー放射の暴露によって負傷する恐れがあります。
- 組立て、操作およびメンテナンスのための適切な指示に従ってください。この指示にはレーザーへの暴露の可能性およびクラス2での到達可能な放射制限超過による二次的放射を回避するための安全上の注意に関する明白な警告が含まれます。

天井マウント設置

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、専用天吊り金具を使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
   - ネジの種類：5xM4
   - 最小ネジ長：10mm

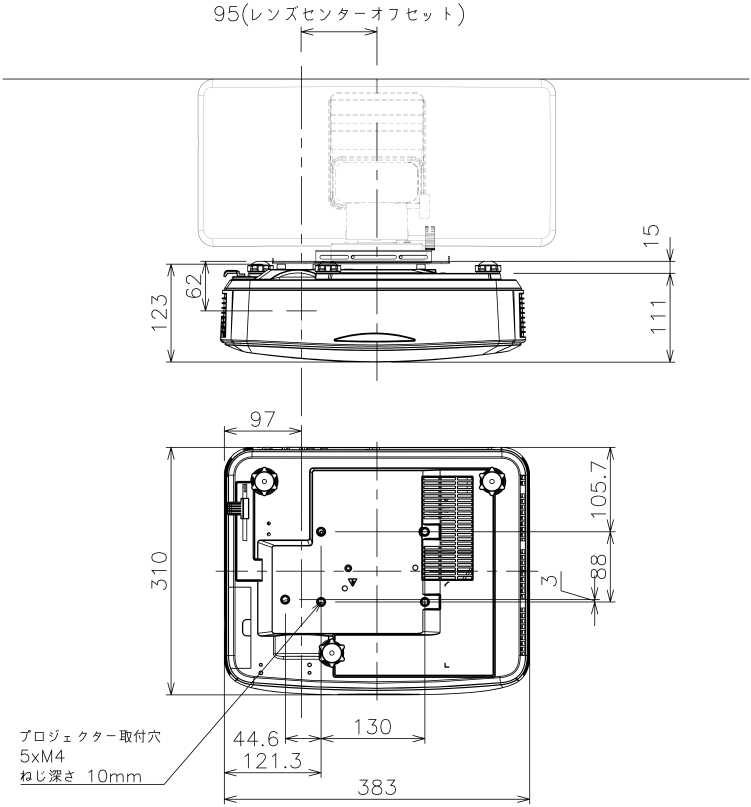
NOTE

❖ プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

NOTE

⚠警告：

1. 他社製の天吊り金具をお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも10 cmの隙間が開くようにします。
3. プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。



付録

Optoma社お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ
3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ
3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

南米
3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com
888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ
42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
カスタマーサービス
TEL：+44 (0)1923 691865
+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV
Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl
+31 (0) 36 820 0252
+31 (0) 36 548 9052

フランス
Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt,
France
+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン
C/ José Hierro,36 Of.1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
スペイン
+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ
Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany
+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンジナビア
Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway
+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国
WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA
+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本
東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495
info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾
12F., No.213,Sec.3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw
+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港
Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong
+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国
5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China
+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

保　証　書

型　　式	ZH400UST		
シリアル番号			
ご　購　入　日	年　　月　　日	保証期間	ご購入日から1年間

★お客様	ご住所	
	お名前	様　TEL　（　　）
★販売店	住　所 店　名	TEL　（　　）　印 またはサイン

ご販売店様へ　　上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記入されているかお確かめください。
　万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。
※故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担となります。
1.保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
　(1) この保証書のご提示がない場合。
　(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
　(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
　(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
　(5) 火災や天災等による故障および損傷。
　(6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

3.この保証書は日本国内においてのみ有効です。
　Eftective only Japan.
4.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
　したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
　保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記コンタクトセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

販売元　株式会社オーエスエム
　コンタクトセンター
〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-25-18
TEL：0120-380-495 FAX：0120-380-496
　(受付時間：平日9：00～18：00 ※土日祝日を除く)
E-mail : info@os-worldwide.com
　※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。
TEL：03-3629-5211 FAX:03-3629-5214